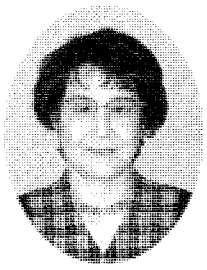
発行所　東京都新宿区左門町11番地6の101
〒160－0017
社団法人　大学婦人協会
電　話　03－3358－2882
ＦＡＸ　03－3358－2889
http://www3.tky.3web.ne.jp/~jauw/
郵便振替 00150－7－173434
発行人　今井けい
編集責任者　松本佳子

JAUW

おもな記事

1面　会長あいさつ、第45回通常総会議事録
2面　全国セミナーのお知らせ、総会開催支部報告
理事・監事名簿、支部長名簿
3～7面　2001年度事業報告、2002年度事業計画
8～9面　守田科学研究奨励賞論文概要、本部委員会名簿、新入会員名簿、守田科学研究奨励賞・国内奨学生募集要項、国庫補助事業決算報告
10面　2001年度決算報告、2002年度予算

会長就任にあたって
――ICTと女性――



会長　今井けい

アフガニスタンの復興支援を契機に、NGOの役割の重要性が改めて認識されました。政治や経済がグローバル化するなかで、戦災復興支援というような大事業は、国連や各国政府のGO（政府機関）だけでは十分に達成できないことが分かったからでしょう。医療、食糧、教育支援などには、様々な民間団体（NGO）のきめ細かな協力が不可欠だからです。

私たちのJAUWも、国連NGOの一つとして長期間にわたって、地味ではありますが、研究・教育を通して各種の活動を続けて参りました。これからもJAUWに対する社会の要望に耳を傾け、これらに応えられるような活動をして参りたいと思います。

JAUWの加盟母体であるIFUWは、2001年～2004年の活動のテーマを「人権の視点からグローバル化を考える―女性のエンパワーメント」としました。これはタイムリーなテーマと言えましょう。経済のグローバル化が貧富の格差を拡大し、貧しい国の人びとの苦しみをさらに拡大していることは周知の事実だからです。

JAUWは、このIFUWの活動テーマの一環として「女性と情報社会」を、新しい理事会の下での活動（全国セミナー）のテーマとすることにいたしました。

従来「情報社会」は、新聞、雑誌、テレビなど活字や映像を媒体とした情報が支配する社会と考えられてきました。しかし、今やICT（情報コミュニケーション技術。ITの概念をコミュニケーションにまで拡大）が急速に進展する中で、私たちはむしろ、ICTを媒体とした「情報社会」をとり上げることにしました。

それは、ICTが革命と呼ばれる程、情報のみならず生産、流通その他のあらゆる分野に大きな変化をもたらしているからです。この変化が女性にいかなる影響を与えているかが、私たちの調査研究の動機であります。女性あるいは弱い立場の人びとに、グローバル化した「豊かさ」をICTがもたらしているかを確かめねばなりません。そのの手始めに先ず、ICT機器の操作技能の修得と、それによる女性のエンパワーメントの実態を明らかにしたいと考えています。ICT分野における女性の職域の拡大の実情も、把握したいところです。

しかし、いかなる情報を送・受信するかが、さらに重要な課題になるでしょう。ICTによる本法」や「家庭内暴力禁止法」の浸透が、その課題の一つになるでしょうし、今だに絶えない地域・民族紛争の解決に貢献できる具体的な方途を探ることも、忘れてはならない課題です。

今年のJAUWの「新春のつどい」では「アフガニスタンでは字を読むことも書くこともできない女児がいることを、私たちは忘れないでいたい」との発言がありました。

JAUW自身がICT化によって、社会の期待にいっそう応えられる発信をできればと願っています。

第45回通常総会特集

ICTの更なる活用をめざして
新しく「情報委員会」を設置
社団法人　大学婦人協会
第45回通常総会議事録

第45回通常総会は、21年ぶりに、大震災から復興した神戸で開催された。新緑につつまれた会場には、全国から229名が出席、新役員が承認された。時代に即応して情報委員会が誕生したほか、賛助会員規定の見なおしなど、活発な意見交換が行われた。報告・審議内容は次のとおりである。

日　時　二〇〇二年四月一四日（日）　9時～16時
場　所　神戸商工会議所　神商ホール（神戸）
出席者　委任状　八四七名
　　二二九名　計一、〇七六名
出席支部　札幌・秋田・仙台・福島・新潟・茨城・栃木・群馬・長野・東京・神奈川・静岡・愛知・岐阜・金沢・福井・京都・奈良・大阪・神戸・岡山・広島・大分・熊本・福岡・長崎　以上26支部
欠席支部　小樽・函館・山口・愛媛・高知・鹿児島　以上6支部

《午前の部》

司会　副会長　加藤　恭子

会議開始

総会成立確認
書記　百束　礼子
定款第5章第32条に基づき、正会員1683名の1/5（337名）以上の出席（委任状提出者を含む）により、総会が成立することを確認する。

開会の辞
会長　山本　和代

黙　禱
逝去会員13名のご冥福を祈って、一同起立、黙禱。

議長承認
定款第5章第29条により、山本和代会長が議長となる。
承認

書記選出
本　部　関口　瑞穂・百束　礼子
神戸支部　吉本　康子・中堀とし子
承認

報　告

1．総　務
書記　関口　瑞穂
「2001年度事業報告」参照。

2．委員会　各委員長
「2001年度事業報告」参照。

3．国庫補助事業（JAUW全国セミナー）
企画第一委員長　杉森　長子
「2001年度事業報告」企画第一委員会の項参照。

4．支　部　各支部長
「2001年度事業報告」参照。
前記1．～4．の「2001年度事業報告」について
承認

5．会　計

A．一般会計
会計　中山　正子
2001年度収支決算並びに資産状況
「2001年度収支決算報告書及び貸借対照表」参照。

特別会計
会計　江口　昌子
国庫補助事業収支報告
「平成13年度国庫補助事業特別会計収支決算報告」参照。

監査報告
監事　藤崎　久
3月26日、本部事務所において根岸愛子監事とともに、平成13年度（2001年度）国庫補助事業特別会計について監査を行った。その結果、会計の処理・記帳ともに適正に記載され間違いのないことを確認したので報告する。
4月4日、本部事務所において根岸愛子監事とともに、本協会の一般会計2001年4月1日より2002年3月31日までの収支決算報告、貸借対照表、財産目録、正味財産増減計算書について元帳・各種領収書・預金通帳及び現金と照合して監査を行った。その結果、資産の管理・運用、会計の処理・記帳ともに適正に記載され間違いのないことを確認したので報告する。

一般会計、特別会計について
承認

《午後の部》

審　議

議長　山本　和代

1．新役付理事・監事の承認（会報205号参照）
選考委員長　田中トモ子
当法人の理事・監事の全員が4月4日をもって任期満了となったため、選考委員会で選考の結果、新役付理事・監事として左記の候補者を推薦する。
会　長　今井　けい（新）
副会長　小西　厚子（新）
副会長　坂上栄美子（新）
書　記　海老原典子（新）
書　記　縄田眞紀子（新）
会　計　市川知恵子（新）
会　計　小坂　順子（新）
監　事　静間　敏子（新）
監　事　根岸　愛子（再）
議長は新役付理事・監事について承認を求めた。
承認

2．新役員選考委員の承認（会報205号参照）
選考委員長　田中トモ子
当法人の役員選考委員のうち、豊倉桂子・比留間淑乃両委員は2001年度末で任期満了となり、海老原典子委員は都合により退任するため、新選考委員として阿南糸代、有本玲子、富樫絢子の3名を推薦する。
議長は新役員選考委員について承認を求めた。
承認

●新役付理事・監事、新役員選考委員の紹介
選考委員長　田中トモ子

3．2002年度事業計画案

A．委員会　各委員長
「2002年度事業計画」参照。

B．支　部　各支部長
「2002年度事業計画」参照。
議長は2002年度事業計画について承認を求めた。
承認

4．2002年度予算案（会報205号参照）
財務委員長　藤谷　文子
低金利のため利息収入が減少し、会費の増加も期待できないため、予算の削減をせざるを得ない現状である。しかし、これ以上予算を削減することは当協会の活動にも影響を及ぼすため、収支差額のマイナス分は寄付金や繰越金から支出することとして予算を立てた。
議長は2002年度予算案について承認を求めた。
承認

5．情報委員会（仮称）の設置について
山本　和代
情報伝達の充実によるエンパワーメントを図り、会員から要望が寄せられていた会員間の情報伝達・情報交換のためのホームページを拡充し、且つ、平成14年度のセミナーのテーマである「女性と情報社会」にも密接な関連を持つものとして、「情報委員会」を設置したい。
この委員会の設置に伴い、理事1名を増員したい。現在理事は19名であり、定款第14条　理事15名以上20名以内には抵触しない。
議長は情報委員会の設置について承認を求めた。
承認
ここで山本会長に議長交替し、審議終了。

●青木怜子IFUW会長の挨拶
IFUWでは、会員の資格をその地域で高等教育と考えられる教育を終了したものとしていること、IFUWの新しいリーフレットが近々出来上がるので活用してほしいこと、などの説明があった。

●中村ミチコ会員より「Virginia Gildersleeve's International Fund」への協力依頼があった。

懇　談

司会　加藤　恭子

1．2002年度国庫補助事業について
杉森　長子
平成14年度のセミナーのテーマは、「女性と情報社会」とし、2001年7月に文部科学省に事業計画書を提出してある。IFUWの研究行動計画（SAAP）（2001～2004）とも密接な関連のあるテーマなので、配布した資料も十分吟味していただきたい。
セミナー開催日：10月5日（土）、6日（日）
会場：国立女性教育会館

2．UWA総会について
国際委員長　平野　和子
アジア11カ国が加盟しているUWA総会が8月21日から23日にかけて、ソウルの梨花女子大学で開催される。
テーマ："Empowering Women to Create a Better Future in the New Globalized World"
目的：IFUWオタワ総会決議に基づいた次の4項目
1）男女共同参画社会確立のための教育によるストラテジーの促進。
2）雇用における男女の機会均等の確保。
3）女性が自分たちの力で自らの力をコントロールできるようにする。
4）あらゆる領域での平和の文化の推進。
3日間にわたり、歓迎会、パネル・ディスカッション、研究発表、見学、ワークショップなどが開かれる。JAUWからの研究発表は、2001年度全国セミナーの総括と茨城支部の発表を組み合わせた1件及び教育委員会からの発表1件の計2件である。
ここで司会を杉森副会長に交替。

3．賛助会員規定について
企画第二委員長
加藤　恭子
現在賛助会員として登録されているのは15名である。年会費は正会員と同じ6000円である。但し、支部会費を納めているところ、納めていないところなど、支部により取り扱いが異なっている。
理事会としては、賛助会員について一定の規準を決めたいと思っている。賛助会員は年会費と支部会費を納め、本部からは、会報の送付、その他情報の伝達を正会員と同様に受けられることとし、賛助会員の年会費は正会員の2分の1の3000円としたい。
山本会長から、賛助会員については昨日の評議員会で、女性とすること、学歴は問わない、という方向が出されていると補足説明があった。
青木IFUW会長より、IFUWの会員の資格は地域の現状に即した高等教育を受けた者ということになっており、短大の解釈を含め高等教育に関しては各国で事情が違うので、各国でご検討いただきたいということになっているとの発言があった。
その他にも、賛助会員は寄付など資金援助のためのものと考え男性でもよいと思う。活動のための一員と考えるならば、賛助会員を正会員と区別する必要はない。定款にある「短期大学を除く」とある文言を削除する方向で努力していただきたい、などの意見が会場より出された。

今後さらに賛助会員の資格等について検討していくこととする。
ここで司会を加藤副会長に交替。

4. 情報委員会について
従来文部科学省から公益法人として情報公開を求められており、現在も必要な資料は事務所に公開してある。しかし、更にインターネットのホームページによる情報公開を設置することが先程承認された、と司会者より説明があった。
茨城支部より、支部会員の中にIT専門家がいるので、協力したいとの申し出があった。
ここで司会を杉森副会長に交替。

5. ペイオフ対策について
企画第二委員長　加藤　恭子
理事会の中にペイオフ対策特別委員会を設置し、銀行破綻の場合に備えて対策を検討した。
その結果、現在ある預金を法律で保護される安全な方法で管理するため、1000万円ずつに分割し異なる銀行に預金することとした。一部は既に1000万円ずつの定期預金としたが、残りについても今後徐々に変更していくつもりである。
銀行が破綻した場合は名寄せが行われるので、「大学婦人協会」の名のもとに支部も本部に統括される。そのため今後本部と支部の連携を密にしていく必要がある。銀行の統合で都市銀行の数が減少したため、地方銀行で経営が安定しているところがあれば、紹介してもらうことも評議員会で確認した。ここで司会を加藤副会長に交替。

6. その他
国内奨学生の対象を大学院生のみとすることについて、支部長懇談会で多くの賛成を得ている。以前は大学院が設置されていない県もあったが、現在はすべての県に大学院が設置されており、不公平は生じないこと、大学院生の前期の学力がかつての学部生に相当することなどを考慮した結果である。ただし、2002年度は従来どおり学部生も対象となっているとの説明が司会者よりあった。
懇談が終わり山本会長が議長となる。

次期総会開催地について
山本　和代
第46回通常総会は、2003年4月13日、仙台において開催する。

次期総会開催承諾の挨拶
仙台支部長　飯岡　絹子

開催地支部長挨拶
神戸支部長　樋口　幸子

謝　辞
東京支部長　坂上栄美子

閉会の辞
副会長　杉森　長子

前記の点を明確にするためにこの議事録を作成し、議長及び出席者代表2名が署名押印する。

2002年4月14日
社団法人 大学婦人協会 総会

議長(会長)　山本　和代
署名人　海老原典子
署名人　縄田眞紀子

《2002年度全国セミナー》
女性と情報社会
―その光と影―

企画委員会委員長　小西　厚子

今年度の国庫補助事業(全国セミナー)のテーマは、4月14日の第45回通常総会において採択され、5月11日に開催した第1回企画委員会で、セミナーの概要を次のように決定いたしました。

日程　10月5日(土)
　　10月6日(日)
会場　国立女性教育会館
テーマ　女性と情報社会
　―その光と影―
サブテーマ
ICTと女性をめぐる諸問題
1. ICT関連機器の普及と現状についての基礎調査
2. ICTと男女共同参画社会
3. ICTと女性の職業
4. ICTによる生活の変化

今年度より2年間の予定で行う調査・研究は、ICT(情報コミュニケーション技術)のもとに発展しつつある情報社会にあって、現在、女性がどのような状況にあるのか、ICTが女性のエンパワーメントにどのように関係しているのかといった問題をとりあげることになりました。

セミナーの初日、このテーマに対して的確な示唆をしていただける講師に基調講演をお願いすることが決まっています。
サブテーマの内容について、説明をいたします。

「ICT関連機器の普及と現状についての基礎調査」は、ICT関連機器、特にインターネットに接続する機器がどのように利用されているか、機器の操作技術の状況はどうかといったICTに関する現状の分析を目的とするものです。
アンケート用紙は、情報委員会の協力を得て企画委員会が作成しましたので、会員諸姉に届きましたら、ご家族やお知り合いにも呼びかけてご回答をお願いします。
研究テーマに関しては、それぞれ、次のようなテーマを考えています。

「ICTと男女共同参画社会」については、
① 男女間の情報リテラシー(情報活用能力・情報利用技術)の格差の克服に関する対策、② ジェンダーの視点からみたICT、③ ICTによる情報と女性の人権、④ ICTと女性の未来、その他の問題を提案しています。

「ICTと女性の職業」については、① 女性のICT産業への進出状況、② 女性のSOHOスタイルの実態、③ ICTと女性の起業、その他のテーマをあげています。

「ICTによる生活の変化」については、① ICTと家族関係の変化、② ICTと職場の人間関係、③ ICTと高齢社会などの研究を提案します。

セミナーに参加を予定している委員会・支部の皆さまは、これらの研究テーマ、あるいはこれらに関連した内容のテーマを選んで発表していただければと存じます。
会員の皆さまのご協力のもとに充実したセミナーになることを願っています。

第45回通常総会
開催支部報告

神戸支部長　樋口　幸子

第45回通常総会は、21年ぶりに神戸の地で開催されました。
7年前の阪神大震災の時、本部はじめ全国各支部よりいただきました、あたたかいご支援への感謝をこめて、この1年間準備をしてまいりました。この機会を与えていただきましたことに、支部会員一同こころより感謝申しあげます。
今年の通常総会は、今の社会情勢を反映して、ペイオフ対策、国内奨学金応募資格見直し、賛助会員資格検討、新たな情報委員会の設置提案など、内容の濃い総会でした。支部長懇談会では、年1回の貴重な機会を生かすべく、各支部での日頃の支部活動の実状、悩み、抱負等、出席26支部の支部長より、時間をオーバーしてご発言いただきました。後半は理事を交えて、このきびしい社会情勢に備え、本部と支部との更なる連携のため、一層太いパイプの必要性を確認し合いました。
総会前夜の懇親会では、青木怜子IFUW会長はじめ170名を超す多くの会員のご出席をいただき、チベット出身のバイマー・ヤンジンさんのトークと歌をお楽しみいただきました。ヤンさんは中国の大学で知り合った日本人男性と結婚、7年前から大阪在住、母国の子どもたちのために日本から資金を送り、すでに五つの小学校を建設、今は六つ目に取り掛かっていることを、みごとな日本語で話されました。私たち日本人が忘れかけている日本の心に触れられ、ある共感をおぼえていただいたことと存じます。
総会の夜のレクチャーでは、会員4名による震災体験談、後半は河田恵昭氏の講演をうかがいました。日本人の危機管理の甘さを痛烈に指摘され、本音での具体的な内容の講演でした。
翌日の見学会は、淡路島と姫路城両コースとも穏やかな天候に恵まれ、事故もなく順調にすべての行事を終えることができましたことは何よりでした。最後ではございますが、山本和代前会長はじめ前理事の皆さま方には心より感謝申しあげます。皆さま方のご努力が当協会の今後の発展に必ず実ることを確信しております。
来年は〝杜の都〟仙台での総会です。1年後皆さまにお目にかかれることを楽しみにしております。

社団法人 大学婦人協会支部長名簿 (2002年度)
2002年5月31日現在

支部名	氏名	出身校	〒	住所	電話	FAX
小樽						
札幌	橋本　素子	津	005-0015	札幌市南区真駒内泉町3-10-1	011-582-9210	011-582-9210
函館	荒田　絢子	東女	041-0806	函館市美原1-34-2	0138-41-0410	
秋田	橋本　澄子	茶	010-0063	秋田市牛島西2-11-11	018-833-6150	
仙台	飯岡　絹子	実	984-0073	仙台市若林区荒町209	022-227-1346	022-266-0261
福島	荻原ノリ子	福島	960-8157	福島市蓬莱町6-15-17	0245-48-7436	
新潟	小林　裕子	I.C.U.	950-2072	新潟市松美台4-6	025-233-0495	025-233-0495
茨城	松本由美子	共女	312-0041	ひたちなか市西大島1-26-22	029-274-4197	029-274-4331
栃木	友枝　純子	東女	320-0052	宇都宮市中戸祭町850	028-621-1581	028-621-1581
群馬	植原　映子	成蹊・院	371-0045	前橋市緑が丘町26-5	027-231-9431	027-231-9431
長野	掛塚　芳子	昭女	381-0082	長野市上駒沢1329-17	026-296-2843	026-296-2843
東京	三浦由紀子	茶	187-0032	小平市小川町1-733	042-341-0760	042-342-0586
神奈川	堀　美知子	早	243-0412	海老名市浜田町6-11	046-232-5660	046-232-3588
静岡	大塚佐枝美	奈女	420-0853	静岡市追手町10-1210	054-253-6464	054-253-6464
愛知	泉　ひさ	創価・フォーダム院	466-0815	名古屋市昭和区山手通3-8-2　瑞光ハイツ306	052-832-3185	052-832-3185
岐阜	松井　恵美	津	502-0017	岐阜市長良雄総880-103	058-232-5010	058-232-5010
金沢	山村　福子	日女	920-0942	金沢市小立野1-5-1-406	076-262-8640	076-262-8640
福井	山田　由美	武庫女	918-8037	福井市下江守町9-26-25	0776-34-2901	0776-34-2901
京都	中村　泰子	奈女	604-0086	京都市中京区小川通丸太町下ル中ノ町81-1	075-211-8728	075-211-8744
奈良	阿部百合子	奈女・院	630-8105	奈良市佐保台2-902-566	0742-72-3252	0742-72-3252
大阪	中川　春江	日女	545-0004	大阪市阿倍野区文の里4-17-23	06-6629-0097	06-6629-3346
神戸	樋口　幸子	神女	657-0067	神戸市灘区篠原本町3-5-10	078-881-2762	078-881-2763
岡山	村岡　知子	東農	703-8255	岡山市東川原278-1-503	086-271-2606	086-271-2606
広島	舟橋　喜恵	名古屋	734-0045	広島市南区西本浦町14-11-601	082-285-2584	082-285-2584
山口	松岡　静子	日女	743-0001	光市室積8-3-12	0833-78-0131	0833-79-0577
愛媛						
高知						
大分	柏田　知子	九州	870-0851	大分市大石町1丁目4組	097-544-2677	097-544-2677
熊本	武宮　公子	茶	860-0862	熊本市黒髪4-8-53	096-344-4118	096-344-4118
福岡	和栗　方子	茶	810-0053	福岡市中央区鳥飼1-6-45	092-761-3812	092-761-3812
長崎	平野　啓子	日女	850-0822	長崎市愛宕3-4-23	095-828-2545	095-828-2714
鹿児島	大久保美智子	日女	891-0103	鹿児島市皇徳寺台4-51-6	0992-65-6375	

社団法人 大学婦人協会理事・監事名簿 (2002年度)

役職名	氏名	出身校	〒	住所	電話 FAX
会長	今井　けい	津・法院	353-0006	志木市館2-3-13-801	048-473-8656
副会長	小西　厚子	日女・慶院	183-0034	府中市住吉町1-84-1-1206	042-351-4583
副会長	坂上栄美子	大女	206-0013	多摩市桜ヶ丘2-18-11	042-374-0349 042-371-7091
書記	海老原典子	東女	160-0003	新宿区本塩町10 四谷コーポラス57	03-3351-5056
書記	縄田眞紀子	奈女	359-0027	所沢市松郷85-39	042-946-0228
会計	市川知恵子	実	367-0051	本庄市本庄2-7-3-114	0495-23-0241
会計	小坂　順子	日女	125-0033	葛飾区東水元1-7-12	03-3608-4864
財務	大森たへ子	津	106-0041	港区麻布台3-4-18 ホーフ麻布201	03-3582-8043
国内奨学	海老根静江	茶・東京院	192-0363	八王子市別所1-54-5-403	0426-77-9748 0426-77-9949
国際奨学	宮島　茂子	東女	168-0082	杉並区久我山3-8-19	03-3334-3769
科学研究奨励	島　美喜子	茶・筑・院	167-0053	杉並区西荻南3-19-13	03-3333-5705 03-3331-0663
国際	柳原由美子	聖I.C.U.院	261-0013	千葉市美浜区打瀬2-17 パティオス18番街508	043-211-7637
国内NGO	松比良節子 (神奈川支部)	京都・院	244-0815	横浜市戸塚区下倉田町18-1 プロードスクエア戸塚1320	045-871-0252 045-871-0727
教育	橋本　慶子 (奈良支部)	奈女	227-0064	横浜市青葉区田奈町82-11	045-983-0722
女性の地位	増渕　民子 (栃木支部)	津	320-0032	宇都宮市昭和3-1-32	028-622-3922
社会福祉	鈴木　光子	日女	146-0085	大田区久が原6-11-18	03-3751-1370
広報	松本　佳子	茶	216-0005	川崎市宮前区土橋3-10-7	044-852-6456 044-888-5541
会員	秋月　薫	茶	154-0011	世田谷区上馬3-13-14	03-3421-8503
情報	井口美登利	津	151-0051	渋谷区千駄ヶ谷4-11-9-505	03-3405-0460
東京支部	三浦由紀子	茶	187-0032	小平市小川町1-733	042-341-0760 042-342-0586
監事	静間　敏子 (茨城支部)	神女	310-0851	水戸市千波町2849-7	029-241-8373
監事	根岸　愛子	東女・大阪・東京院	184-0013	小金井市前原町5-20-8	042-385-6132

社団法人 大学婦人協会
二〇〇一年度事業報告
二〇〇二年度事業計画

書記　百束 礼子　関口 瑞穂

総務報告

組織（2002年3月1日現在）

会員
- 正会員　1683名（内本年度新入会員73名）
- 賛助会員　14名

理事　19名
監事　2名
役員選考委員　7名
評議員　29名
支部　32支部

事業

1. 2001年4月1日第44回通常総会をアルカディア市ヶ谷（東京都）で開催。
2. 定例理事会（月1回）を11回開催、臨時理事会を1回開催。記事内容に関しては、理事会記録として評議員（支部長）に送付し、必要に応じて、会報『JAUW』紙上で会員に報告。
3. 4月11日　平成13年度都民税均等割申告書・都民税均等割免除申請書を新宿都税事務所に提出、11月14日免除申請許可。
4. 5月7、8日、韓国で開催された〝High-Level Woman Leader's Conference in NEA〟（北東アジア）に山本会長出席。
5. 5月19日　守田科学研究奨励賞第3回贈呈式及び祝賀パーティーをアルカディア市ヶ谷で開催、受賞者2名
6. 5月28日「平成12年度事業報告書」を文部科学省に提出。
7. 2003年の通常総会を4月13日（日）仙台で開催することを決定。
8. 6月2日　理事会で2001年度の国際奨学生としてエジプトのメルバット・フォダ氏を決定。
9. 7月25日「平成13年度民間社会教育活動振興費補助金交付申請書」を財団法人全日本社会教育連合会に提出。
10. 7月27日「平成14年度民間社会教育活動振興費補助金事業計画書」を文部科学省に提出。
11. 7月31日『女性展望』の〝世紀をつなぐ女性団体活動の継続と発展〟シリーズで会長がインタビューに応じた。9月号に掲載。
12. 8月10～17日　第27回1FUW総会がオタワで開催、日本から71名（会員及びその同伴者を含む）が出席。
13. IFUW総会で青木怜子IFUW第一副会長が2001～2004年期のIFUW会長に選出され、房野桂IFUW会員委員会委員もIFUW女性の地位委員会委員に選出された。
また、JAUWセミナー（1998～2000年）の結果を集約した決議案を提出し、満場一致で採択された。
14. 10月13、14日、文部科学省国庫補助事業全国セミナーを国立女性教育会館で開催。
15. 10月17日　平成13年度公益法人概況調査票を文部科学省に提出。
16. 10月26～30日　山本会長九州支部（長崎・福岡・熊本・大分）を歴訪、福岡（まつりアミカス）において「男女共同参画社会に向けて女性の役割―国際的連帯の中で―」をテーマに講演。
17. 大学婦人協会事務所のあるマンションの管理組合の理事長の任期が満了11月27日　全国セミナーでの全体討議をまとめ、「決議事項」として、内閣府、文部科学省、厚生労働省に提出。
18. 11月27日　全国セミナーのさらなる進展のために、「女性と情報社会」のテーマで、これまでの蓄積の上に新たな視点に基づく問題解決への努力を継続していきましょう。
19. 2002年1月12日　会員相互の親睦をはかるため、「新春のつどい」をアルカディア市ヶ谷にて開催。
20. 「新春のつどい」の席上で、2001年度国内奨学生、社会福祉奨学生に対する奨学金の贈呈式を挙行。

一般奨学生
- 大学院生　9名
- 学部生　5名

安井医学奨学生　1名
ホームズ奨学生　1名
社会福祉奨学生　4名

21. 2月6日　2002年度IFUW会費19、560スイスフラン（12スイスフラン×1630名）をIFUW本部へ送金。
22. 2月2日　2002年度予算案を承認。
23. 3月末　平成13年度文部科学省国庫補助事業実績報告書及び平成14年度事業計画書を文部科学省に提出。
24. IFUW奨学金に多くの会員から募金が寄せられ、合計15万円をIFUW本部に送付。
25. 3月29日　内閣府男女共同参画推進連携会議（えがりてネットワーク）第12回会合で、山本会長が大学婦人協会の男女共同参画に関する活動状況について報告。

逝去会員

本年度逝去会員に対して、謹んで哀悼の意を表し、ご冥福をお祈りする。

- 江崎　ひな（大女）　大阪
- 大脇　静枝（茶）　仙台
- 阿部わか子（法・院）東京
- 吉村　公子（東女）　函館
- 宮澤　照代（昭女）　東京
- 西村　圭子（百女・統院）東京
- 花岡とし子（同女）　神戸
- 藤原美津子（大女）　神戸
- 北村　孝（東女・オハヨウエス）東京
- 山口　範子（日女）　愛知
- 小野日出子（茶）　新潟
- 川口　栄子（津）　秋田
- 諏訪　寿子（大女）　大阪

委員会報告

企画第一委員会　杉森長子

事業報告（2001年度）

平成13年度文部科学省国庫補助事業として、全国セミナーを企画し、実行した。詳細は全国セミナー報告書にまとめ、平成14年3月15日に刊行した。報告書は関係各省庁関係各位（男女共同参画推進本部長、内閣総理大臣、男女共同参画担当大臣・内閣官房長官、内閣府男女共同参画局長、文部科学省生涯学習局長、文部科学省男女共同参画学習課長）ならびに全国各地の支部長各位に送付した。これに先立ち、平成13年11月27日には、セミナーで発表・討議された意見をまとめ、女性のエンパワーメントに関する決議書を関係各方面に提出した。また全国各地の支部を通して、各地方自治体にも提出した。以下にセミナーの概要を報告する。

1. セミナー・プログラムの概要

テーマ：「21世紀、男女共同参画社会の確立をめざすエンパワーメントのストラテジー―全国セミナーにおける決議事項のフォローアップ―」

開催日：2001年10月13日、14日

会場：国立女性教育会館

シンポジウム：「どこまで進んだ男女共同参画社会」

パネリスト（50音順）
上沼歓子氏・鹿嶋　敬氏・鈴木理恵子氏・前田邦博氏

コーディネーター　山本和代会長

研究発表：福島・茨城・静岡・愛知・奈良・大阪・神戸支部、教育・女性の地位・社会福祉委員会

分科会：学校教育、家庭教育、女性と職業、高齢者問題

全体討議

2. 企画の経緯

◎文部科学省関係

3月26日　国庫補助金申請のため「事業計画書」を提出。

7月17日　国庫補助金1、460、000円の仮内示通知。

7月25日　国庫補助金交付申請書の提出。

7月31日　国庫補助金交付申請書を1、680、000円に訂正の上、提出。

11月27日　決議事項提出。

3月15日　実績報告書提出

◎企画委員会関係

第1回（5月12日）　セミナーの日程・会場・テーマ・企画委員の確認。

セミナーの形式と構成を検討、基調講演は取り止め、シンポジウムに重点を置く。

第2回（6月2日）　シンポジウムのパネリストの候補者を検討、女性2名、男性2名とする。

プログラムの決定。

第3回（7月7日）　シンポジウムのテーマは「どこまで進んだ男女共同参画社会」に決定。

コーディネーターは山本和代会長に決定。

分科会は4分科会に設定。企画第一委員の役割分担について確認と決定。

第4回（9月1日）　パネリストの決定。役割分担の打ち合わせ。

第5回（10月12日）　セミナー前日の打ち合わせ。

第6回（11月6日）　決議事項の検討。

第7回（11月13日）　決議事項の検討。

◎企画・実行合同委員会関係

第1回（9月1日）　実行委員の役割分担と企画委員との相互の打ち合わせ。

第2回（10月12日）　セミナー会場での事前準備と各自担当の確認。

第3回（11月10日）　セミナーの反省。

3. 参加者総数　161名

来賓：3名、パネリスト：4名、会員：150名、一般：3名、職員：1名

4. 企画委員ならびに実行委員（50音順）

企画委員

山本　和代（会長）
杉森　長子（企画委員長）
加藤　恭子（実行委員長）
五十嵐康子　井口美登利
江口　昌子　尾上　夏子
越村とくゑ　坂上栄美子
鈴木　伸子　関口　瑞穂
高田　素子　田中　正子
平野　和子　藤谷　文子
藤村久美子　堀　美知子
牧野恵美子　百束　礼子
鷲崎　千春

実行委員

秋月　薫　市川知恵子
遠藤　理枝　大島真理子
大森たへ子　片柳　洋子
後藤　晶子　斉藤加代子
齊藤　智恵　佐々木澄子
鈴木　光子　玉井美枝子
中山　正子　中山　律子
野崎　方子　橋本　慶子
橋本津栄子　福田　文子
福田　満代　待場田鶴子
増渕　民子　松本　佳子
宮島　茂子　山崎　邦子
横橋　貴子

事業計画（2001年度）

平成14年度の全国セミナーを、「女性と情報社会」と題して企画し実行することで、文部科学省に民間教育活動振興費補助金を申請しました。

当協会の取り組んでいる男女共同参画社会確立をめざす調査研究においては、情報社会の発展と女性の地位向上との関係の解明は不可避の重要な課題です。とりわけ、情報社会における男女平等教育の実施方法や、女性の人権と表現の自由の問題の明晰化は重要です。女性のエンパワーメントのためのストラテジーとしても、これらへの取り組みは不可欠でしょう。

企画第二委員会　加藤恭子

事業報告（2001年度）

1. 若手会員育成金によるIFUWオタワ総会参加者を募集し、森山智可（東京）穐田信子（神奈川）松野和子（愛知）の3名に渡航費の補助として20万円ずつ支給。IFUW総会においては、ワークショップやヤングメンバーの集い等に参加・活動し、帰国後、報告書を提出。
2. 賛助会員規程について再検討し、支部長懇談会及び総会にはかる。
3. 2002年度の若手会員育成金による研究会を募集。
4. ペイオフにたいする対策委員会を組織し、継続的に検討することとする。

委員

秋月　薫　井口美登利
金子　堯子　齊藤　智恵
島　美喜子　鈴木　光子
関口　瑞穂　玉井美枝子
中山　正子　松本　佳子
宮島　茂子　山中　照子
加藤　恭子（委員長）

事業計画（2002年度）

1. 若手会員育成金によるヤングメンバーの研究会を募集し、研究費を交付する。
2. 国際奨学金基金のとりくずしにつき、引き続き対策を講じる。
3. ペイオフに対する対策を、委員会を中心に継続的に検討する。

財務委員会　藤谷文子

事業報告（2001年度）

1. 委員会活動

3月31日、4月1日　バザー開催（第44回通常総会会場）
4月25日　第1回委員会
5月18日　ランプの会（芙蓉カントリークラブ13名）
6月6日　第2回委員会
6月16日　観劇会（新橋演舞場「蜘蛛の巣城」72名）
7月3日　勉強会（袖ヶ浦東京ガス、東京電力見学40名）
7月4日　第3回委員会
9月5日　第4回委員会
10月3日　第5回委員会
10月4日、25日　観劇会（三越劇場「若手歌舞伎」11名）
10月13、14日　バザー開催（セミナー会場）
10月18日　バスツアー（八ヶ岳高原方面紅葉狩り75名）
11月7日　第6回委員会
11月9日　ランプの会（桃里カントリークラブ13名）
11月17日　観劇会（国立劇場、通し狂言「義経千本桜」34名）
12月5日　第7回委員会
12月8日　観劇会（演舞場「大阪からきた女」56名）
1月9日　第8回委員会
1月12日　新春のつどい（バザー開催、アルカディア市ヶ谷116名）
2月3日　第9回委員会
3月6日　第10回委員会
3月22日　サンセット・クルーズ（日の出桟橋出発70名）

2. 寄付状況（2002年3月31日現在）

寄付金総額　2、211、000円

a. 寄付金（敬称略）　376、742円

○井上ジェムス　100、000円
○アダチ財団　38、600円
○鈴木氏　70、747円
○サントレーノ　18、000円
○会員による現金寄付　103、000円
○丸大食品　30、945円
○ライン　15、550円

b. 活動その他による寄付　1、834、163円

○バスツアー　185、849円
○勉強会　70、720円
○観劇会　363、918円
○ランプの会　72、000円
○新春のつどい　70、000円
○会員寄贈品（バザー）　78、220円
○雑貨販売（バザー）　998、456円
c. 利息　95円

本部へ（2002年3月31日まで）入金。　2、211、000円

事業計画（2002年度）

1. バザー開催。
2. バスツアー、旅行
3. 観劇会
4. 講演会、勉強会
5. ゴルフ愛好会（ランプの会）
6. 新春のつどい
7. 2002年度予算案作成。

国内奨学委員会　金子堯子

事業報告（2001年度）

一般奨学・安井医学奨学・ホームズ奨学

4月7日　理事会において、今年度第54回一般奨学生の募集は、大学院生9名（10万円、うち1名分は東京支部の寄付による）、学部生5名（8万円）、第11回安井医学奨学生1名（30万円）、第47回ホームズ奨学生（2001年度は大阪女子大学）1名（10万円）の贈呈の承認を得る。

5月2日　社会福祉委員長と共に協議の上、今年度の国内奨学生選考のスケジュールを検討した後、応募締切日（案）を9月10日とし、5月12日の理事会にて承認を得る。

5月26日　募集要項書類を、東京都、千葉県、埼玉県内の64大学および28支部長宛に発送。ホームズ奨学金は大阪女子大学に推薦を依頼。会報202号に募集要項掲載。

9月29日　応募者総数79名

一般奨学生（大学院生33名、学部生40名）、安井医学奨学生5名、ホームズ奨学生1名、選考委員に応募書類のコピーと評価表を送付。

10月20日　選考委員会開催

山本会長および加藤副会長出席の上、選考委員全員により慎重審議の結果、奨学生候補として一般奨学生14名（大学院生9名、学部生5名）、安井医学奨学生1名、ホームズ奨学生1名を選出。

11月10日　理事会で一般奨学生、安井医学奨学生、ホームズ奨学生の承認。

11月17日　選考結果を応募学生、大学学長、支部長に通知。

1月12日　アルカディア市ヶ谷における「新春のつどい」で奨学金贈呈式。

奨学生12名出席、早稲田大学、日本女子大学の奨学金事務担当者も出席される。京都、大阪、神戸の各支部で授与式を行う。

2月1日　会報204号（選考結果および奨学生の小論文掲載）を奨学生、応募大学の学長宛送付。

事業計画（2002年度）

1. 第55回一般奨学生の募集、選考。
2. 第12回安井医学奨学生の募集、選考。
3. 第48回ホームズ奨学生の募集、選考。
4. 2002年度国内奨学生贈呈式の準備。

国際奨学委員会　宮島茂子

事業報告（2001年度）

4月30日　応募締切。アメリカ、インド、エジプトから各1名、計3名

5月17日　選考委員会開催

選考の結果、2001年～2002年の奨学生にエジプトのメルバット・フォダ氏を選出。奨学金の額は60万円。フォダ氏は9月30日来日、2月末まで長崎県立シーボルト大学看護栄養学部栄養健康学科で研究。

9月30日　委員会を開催、国際奨学金のための基金箱を作り、色々な機会に募金をお願いすることとする。

10月10日　2002年度募集要項と申し込み用紙をIFUW加盟国に発送。

2月25日　本年度奨学生フォダ氏の報告会をアルカディア市ヶ谷で東京支部との共催にて開催。その他、IFUW及び各国の奨学金を紹介し、稲田明理会員をAAUWの奨学金に推薦した。また多数の国内外からの問い合わせに応じた。

科学研究奨励委員会　島　美喜子

事業報告（2001年度）
4月14日　第1回委員会
第3回守田科学研究奨励賞贈呈式当日のスケジュール、役割分担、招待状発送先等について協議。また、委員会の科学教育に関する新たな活動として、年に1回程度、自然科学の講演会を開くことを決めた。講演会は東京支部と共催にし、講師は、委員会の委員に依頼する。
5月19日　第3回守田科学研究奨励賞贈呈式、受賞講演、祝賀パーティーをアルカディア市ヶ谷で挙行。
なお、次の各新聞に受賞者等に関する記事が掲載された。日経（5／28）科学新聞（6／1）産経、読売、朝日
6月20日　会報202号に第3回贈呈式および受賞者の研究実績を紹介する記事を掲載。第4回受賞候補者の募集要項を公示。
7月15日　自然科学関係の17学会の会長宛に第4回受賞候補者の募集要項を学会誌に掲載されるように依頼状を発送。
8月24日　主な大学（35校）の学長、理・工学部長宛に募集要項とともに推薦依頼状を発送。
9月12日　日経、産経、読売、朝日、科学新聞社宛に、第4回募集要項を発送、掲載を依頼。
11月30日　応募の受付締切、応募者は14名。
12月12日　渋谷区のウィメンズプラザに於いて、自然科学の講演会を東京支部と共催で行う。演題と講師は次のとおり。
「電気を導くプラスチックの発見とノーベル賞」理学博士、東京女子大学名誉教授　島　美喜子
12月21日　第2回委員会
14名の候補者の審査分担、および2002年度の事業計画について協議。
2月17日　第3回委員会：受賞候補者の選考、審議の結果、2名の受賞者を内定。
3月1日　会報205号に第4回守田科学研究奨励賞贈呈式、受賞講演、祝賀パーティーの案内を掲載。
3月2日　理事会で2名の受賞内定者を承認。
3月5日　応募者に選考結果を通知。

事業計画（2002年度）
1．第4回贈呈式の準備、開催。
2．第5回守田科学研究奨励賞受賞候補者募集要項の公示。募集要項の掲載を学会誌・新聞社に依頼。
3．7月あるいは11月に自然科学の講演会を開催。
4．第5回大学婦人協会守田科学研究奨励賞受賞者を選考。

国際委員会　平野和子

事業報告（2001年度）
1．IFUW関係
(1) IFUWより送られてきた回状7／2001～26／2002、IFUW会長からの手紙、国連代表報告などのうち、必要なものを翻訳して、理事会および各支部長あるいは一般会員に配布した。
(2) 第27回IFUW総会が2001年8月10日～17日にカナダのオタワで開催された。
○代議員と代議員代理（各7名）は以下のように決定された。
代議員：山本和代、中村ミチコ、藤村久美子、房野桂、中村泰子、林恭子、平野和子
○代議員代理：加藤恭子、五十嵐康子、江尻美穂子、野瀬久美子、齊藤智恵、平川敦子、穐田信子
○総会前後に開かれた評議会に、評議員として平野国際委員長が、オブザーバーとして中村ミチコ元会長が出席した。
○総会にはJAUWから71名（うち非会員9名）が出席した。
○青木怜子元JAUW会長が、2001～2004年期IFUW会長に選出された。
○房野桂神奈川支部会員が、IFUW女性の地位委員に選出された。
○JAUWから提出した決議案（教育によるストラテジーを通じて男女共同参画社会の確立をめざす）について、一部修正のあと、満場一致で採択された。
○ベースキャンプ2001に高田素子委員が参加した。
○NFAリニューアル・トレーニング・キャンプに平川敦子委員と平野国際委員長が参加した。
○静岡支部による、男女共同参画社会基本法の県条例試案作成の試みがIFUWに評価され、第27回総会の全体会で五十嵐康子国内NGO委員長が活動の骨子を発表した。
○愛知支部林依里子会員を責任者とする若手研究グループがワークショップを開催した。
○田中正子前教育委員長が学際セミナーの司会をし、藤村久美子教育委員長がラポルテュールを務めた。
○総会では19件の決議案が採択された。
○次回総会は2004年8月にオーストラリアのアデレードで開催される予定（パースに変更）
○若手の渡航費援助対象者として、穐田信子、森山智可、松野和子の3会員が総会に参加し、それぞれに成果をあげた。
○2001年10月15日JAUWセミナーで、第27回総会の報告を行った。
○2002年1月26日、茨城支部新年会で、国際委員長がオタワ総会についての話をした。
(3) ビーナ・ロイ開発パートナー計画に15万円を拠出した。
(4) 2001年9月11日のアメリカの同時多発テロ被害に対し、アメリカ大学婦人協会会長、キャスリーン・ローリライFUW副会長宛に見舞いのE・メールを送った。
(5) IFUW決議委員長より、アフガニスタンでの女性と女児の人権擁護、和平プロセスへの女性の参加を求めるアピールを自国首脳に送るよう求められたのに伴い、国際婦人年連絡会を通じて小泉首相、ブッシュ大統領に同趣旨のアピールを送った。
(6) IFUW Fellowship
委員長より、奨学金への寄金を緊急に求められたのに応じて、会員に寄金を呼びかけ、寄せられた165,000円をIFUW本部へ送金した。
2．UWA関係
1998年8月以来、山本会長の管轄下に置かれていたアジア大学婦人連盟（UWA）の本部を韓国に引き継ぐ儀式が第27回IFUW総会中に行われ、加盟各国代表が出席するなかで、無事に韓国に引き継がれた。次回UWA（UWA）との連絡事務を行う。
4．IFUW加盟のNFAより会員の来日の連絡があったとき、接待する。
5．JAUW会員が外国を訪問する際に、必要があれば、当該地のNFAへの紹介業務を行う。

第45回通常総会　挨拶する山本和代会長

事業計画（2002年度）
1．「国連NGO国内婦人委員会」役員会5回
(1) 第56回国連総会政府代表団に、昨年に引き続き柳川恒子氏（元女性法律家協会副会長）を推薦、承認される。9／25歓送会
1／16国連総会報告会
(2) 中村道子委員長・中村ミチコ副委員長が退任、江尻美穂子氏（大学婦人協会会員）が新委員長に、橋本葉子氏（日本女医会会長）が新副委員長に就任。
(3) 第56回国連総会に際し、日本政府のステートメントに対する要望を外務大臣に提出。
(4) 2／25～3／3　第8回「日本・ジョルダン・エジプト・パレスチナ女性交流」2／26　クローズド・ディスカッション
於女性と仕事の未来館
テーマ「働く女性に対する法律上の制約、事実上の制約」山本会長出席。
2／28　公開フォーラム
於横浜関内ホール　テーマ「イスラムの女性たちは今―女性と法律―」
3／10～20　第9回　日本からジョルダン・エジプト訪問。
2．「国際人権規約完全実施促進連絡会議」役員会7回
(1) 12／12　国連人権デーに要望書提出。「人権関係条約の早期批准と完全実施に関する要望」文部科学省・外務省・警察庁・総務省・厚生労働省・法務省・内閣府（訪問順）に提出。
3．「国際婦人年連絡会」（以下連絡会と略す）
(1) 5／28　連絡会総会
○国際婦人年連絡会則承認。
○新世話人　江尻美穂子氏・杉森長子氏・平松昌子氏を承認。
(2) 連絡会全体会の主な活動7回
○加盟47団体の合意による要望書、意見書、抗議文などを政府関係省庁、関係団体等に提出15件。
○学習会「『女性のライフスタイルの変化等に対応した年金の在り方に関する検討会』の報告について」検討会委員　高島順子氏
○憲法・有事法制について女性国家議員に聞く会
16議員出席。
○国際会議報告　房野桂連絡会国際担当。
(1) 3／5～16「第45回国連女性の地位委員会」於ニューヨーク
(2) 6／25～27「エイズ国連特別総会」於ニューヨーク
(3) 8／31～9／7「人種主義、人種差別、外国人排斥及び関連する不寛容に反対する世界会議」於ダーバン
(4) 3／4～15「第46回国連女性の地位委員会」於ニューヨーク
(5) 分野別委員会の活動
△政策方針参画▽委員会10回　担当：片岡・峯川・若井委員
○選挙にあたって各政党にアンケート調査を行い、女性の政治参画をすすめる啓発活動にあたっての情報資料として一覧表作成。
○男女共同参画推進条例により各地方自治体が制定した、或いはこれから制定する条例の一覧表を作成、比較検討。
△教育・マスメディア▽委員会11回　担当：斉藤・横橋委員
「教育改革関連法案」・「社会教育法案」・「公立学校におけるセクシュアル・ハラスメントの根絶」・「メディア・リテラシー」等討議。
△労働▽委員会7回　担当：海老原・松比良委員
「育児介護休業法」・「介護保険の見直し」・「パート・派遣・障害者均等待遇」・「ワークシェアリング」・「女性の年金問題」等討議。
△家族・福祉▽委員会3回　担当：田中・野崎・望月委員
「DV法のフォローアップ」・「児童扶養手当の削減の見直し」・「選択的夫婦別氏」・「医療制度」等討議。
△平和・環境・開発▽委員会11回　担当：野田・矢鋪委員
「憲法九条・有事法制」・「沖縄女性問題に対する抗議」・「9・11同時多発テロ行為に関しての要望」・「京都議定書の批准と米政府への要請」・「遺伝子組み換え・炭疽菌等の学習」・「BSEに関する要望」等討議。
△ユニフェム東京▽委員会12回　担当：五十嵐
○7／17　チャリティ・コンサート（森山ゆり子・光子・祐子三代のピアノ・デュオ）
○8／24　ヌエックワークショップ「女性と貧困」に参加。講演・塩沢美代子氏
○10／18　講演会「新しい国際社会と女性の課題」
猪口邦子氏
○11／10「東京ウィメンズプラザまつり」に参加。講演：黒崎伸子氏
○1／25　ユニフェム東京総会　講演「国連2001」講師：高島肇久氏
○グッズ作成、販売や開発途上国産品販売。
○ユニフェム拠出金をはじめ、WID関連ODAが開発途上国の女性の自立に真に役立つものとなるよう、必要に応じ政府に働きかける。
4．その他内閣府や他団体主催行事に参加。
5．委員会活動　委員会8回
(1) 委員は前述の連絡会等の委員会に出席し、報告書を委員長に提出、委員会で討議し、委員長は毎月の理事会で報告する。
(2) 他団体との交流を一層強化し、JAUWの活動を他団体に伝えるために会報、セミナー報告書等を配布する。
(3) 内閣府男女共同参画局「女子に対するあらゆる形態の差別の撤廃に関する条約実施状況第5回報告書に盛り込む事項」についての意見募集に際し、2000年度JAUWセミナーの決議のうち、2001年8月オタワに於いて開催されたIFUW第27回総会で採択された決議文を提出した。

事業計画（2002年度）
1．関係諸団体（「国連NGO国内婦人委員会」「国際人権規約完全実施促進連絡会議」「国際婦人年連絡会」）との連携を密に保ちながら、2002年度も積極的な活動を続ける。
2．委員会の活動をより一層理解していただくために、他の委員会・支部との情報交換を密にする。
3．アジア大学婦人連盟（UWA）との連絡事務を行う。
4．IFUW加盟のNFAより会員の来日の連絡があったとき、接待する。
5．JAUW会員が外国を訪問する際に、必要があれば、当該地のNFAへの紹介業務を行う。

国内NGO委員会　五十嵐康子

事業報告（2001年度）
1．「国連NGO国内婦人委員会」役員会5回
(1) 第56回国連総会政府代表団に、昨年に引き続き柳川恒子氏（元女性法律家協会副会長）を推薦、承認される。9／25歓送会
1／16国連総会報告会
(2) 中村道子委員長・中村ミチコ副委員長が退任、江尻美穂子氏（大学婦人協会会員）が新委員長に、橋本葉子氏（日本女医会会長）が新副委員長に就任。
(3) 第56回国連総会に際し、日本政府のステートメントに対する要望を外務大臣に提出。
(4) 2／25～3／3　第8回「日本・ジョルダン・エジプト・パレスチナ女性交流」2／26　クローズド・ディスカッション
於女性と仕事の未来館
テーマ「働く女性に対する法律上の制約、事実上の制約」山本会長出席。
2／28　公開フォーラム
於横浜関内ホール　テーマ「イスラムの女性たちは今―女性と法律―」
3／10～20　第9回　日本からジョルダン・エジプト訪問。
2．「国際人権規約完全実施促進連絡会議」役員会7回
(1) 12／12　国連人権デーに要望書提出。「人権関係条約の早期批准と完全実施に関する要望」文部科学省・外務省・警察庁・総務省・厚生労働省・法務省・内閣府（訪問順）に提出。
3．「国際婦人年連絡会」（以下連絡会と略す）
(1) 5／28　連絡会総会
○国際婦人年連絡会則承認。
○新世話人　江尻美穂子氏・杉森長子氏・平松昌子氏を承認。
(2) 連絡会全体会の主な活動7回
○加盟47団体の合意による要望書、意見書、抗議文などを政府関係省庁、関係団体等に提出15件。
○学習会「『女性のライフスタイルの変化等に対応した年金の在り方に関する検討会』の報告について」検討会委員　高島順子氏
○憲法・有事法制について女性国家議員に聞く会
16議員出席。
○国際会議報告　房野桂連絡会国際担当。
(1) 3／5～16「第45回国連女性の地位委員会」於ニューヨーク
(2) 6／25～27「エイズ国連特別総会」於ニューヨーク
(3) 8／31～9／7「人種主義、人種差別、外国人排斥及び関連する不寛容に反対する世界会議」於ダーバン
(4) 3／4～15「第46回国連女性の地位委員会」於ニューヨーク
(5) 分野別委員会の活動
△政策方針参画▽委員会10回　担当：片岡・峯川・若井委員
○選挙にあたって各政党にアンケート調査を行い、女性の政治参画をすすめる啓発活動にあたっての情報資料として一覧表作成。
○男女共同参画推進条例により各地方自治体が制定した、或いはこれから制定する条例の一覧表を作成、比較検討。
△教育・マスメディア▽委員会11回　担当：斉藤・横橋委員
「教育改革関連法案」・「社会教育法案」・「公立学校におけるセクシュアル・ハラスメントの根絶」・「メディア・リテラシー」等討議。
△労働▽委員会7回　担当：海老原・松比良委員
「育児介護休業法」・「介護保険の見直し」・「パート・派遣・障害者均等待遇」・「ワークシェアリング」・「女性の年金問題」等討議。
△家族・福祉▽委員会3回　担当：田中・野崎・望月委員
「DV法のフォローアップ」・「児童扶養手当の削減の見直し」・「選択的夫婦別氏」・「医療制度」等討議。
△平和・環境・開発▽委員会11回　担当：野田・矢鋪委員
「憲法九条・有事法制」・「沖縄女性問題に対する抗議」・「9・11同時多発テロ行為に関しての要望」・「京都議定書の批准と米政府への要請」・「遺伝子組み換え・炭疽菌等の学習」・「BSEに関する要望」等討議。
△ユニフェム東京▽委員会12回　担当：五十嵐
○7／17　チャリティ・コンサート（森山ゆり子・光子・祐子三代のピアノ・デュオ）
○8／24　ヌエックワークショップ「女性と貧困」に参加。講演・塩沢美代子氏
○10／18　講演会「新しい国際社会と女性の課題」
猪口邦子氏
○11／10「東京ウィメンズプラザまつり」に参加。講演：黒崎伸子氏
○1／25　ユニフェム東京総会　講演「国連2001」講師：高島肇久氏
○グッズ作成、販売や開発途上国産品販売。
○ユニフェム拠出金をはじめ、WID関連ODAが開発途上国の女性の自立に真に役立つものとなるよう、必要に応じ政府に働きかける。
4．その他内閣府や他団体主催行事に参加。
5．委員会活動　委員会8回
(1) 委員は前述の連絡会等の委員会に出席し、報告書を委員長に提出、委員会で討議し、委員長は毎月の理事会で報告する。
(2) 他団体との交流を一層強化し、JAUWの活動を他団体に伝えるために会報、セミナー報告書等を配布する。
(3) 内閣府男女共同参画局「女子に対するあらゆる形態の差別の撤廃に関する条約実施状況第5回報告書に盛り込む事項」についての意見募集に際し、2000年度JAUWセミナーの決議のうち、2001年8月オタワに於いて開催されたIFUW第27回総会で採択された決議文を提出した。

事業計画（2002年度）
1．関係諸団体（「国連NGO国内婦人委員会」「国際人権規約完全実施促進連絡会議」「国際婦人年連絡会」）との連携を密に保ちながら、2002年度も積極的な活動を続ける。
2．委員会の活動をより一層理解していただくために、他の委員会・支部との情報交換を密にする。
3．アジア大学婦人連盟（UWA）との連絡事務を行う。
4．IFUW加盟のNFAより会員の来日の連絡があったとき、接待する。
5．JAUW会員が外国を訪問する際に、必要があれば、当該地のNFAへの紹介業務を行う。

女性の地位委員会　鈴木伸子

事業報告（2001年度）
1．定例委員会及び全国セミナー
4月28日　平成13年度第1回委員会　女性の地位委員会の活動目標確認。
5月11日　全国セミナーへの参加及び発表概要を決定。
6月1日　全国セミナー発表に向けて学習会及び役割分担について話し合い
7月6日　全国セミナー発表要旨の確認。
8月31日　全国セミナー発表レジュメ作成と検討。
9月11日　全国セミナー研究発表準備会
10月13、14日　全国セミナー発表「大卒女性の進路・職業・生き方」
11月2日　全国セミナー参加・発表についての話し合い。
12月22日　講演会「DVについて」
講演者：吉廣紀代子氏
2月4日　平成13年度のまとめ
2．オタワ総会に当委員会の高田委員・松比良委員・森山委員が参加した。
3．国内NGO委員会に海老原委員・若井委員が出席・活動をした。

事業計画（2002年度）
1．女性の地位向上及び男女共同参画社会の実現に向けての具体的な提言。
2．全国セミナーへの参加・研究発表。
3．その他の事業計画は新年度委員会で決定。

社会福祉委員会　玉井美枝子

事業報告（2001年度）
1．社会福祉奨学金の贈呈。
今年度は神奈川支部と奈良支部推薦の方々および

大学推薦の方々（大学院生2名、学部生2名）の4名に贈呈した。
2．『高齢者の自立支援と介護者支援に関する研究』として、8月には全国の会員の約500人（無作為抽出）にアンケートをお願いし、それをもとにした研究結果を全国セミナーで発表した。さらに考察を深めて、小冊子「高齢者の自立支援と介護者支援に関する研究」を作成。
3．社会福祉奨学生OGとの交流バスツアーを企画、準備、平成14年5月13日実施予定。

事業計画（2002年度）
1．社会福祉奨学金の贈呈
2．点字講習会
3．社会福祉奨学生OGとの交流バスツアー（富弘美術館の見学）

事業報告（2001年度）
1．会員の現状把握。
2．会費納入の推進。
3．会員の増強。
4．「サロンJ」を開催。於：JAUW事務所
第8回　5月22日（火）
題目「車椅子の駐在員妻の体験」
廣井美佳会員（副題：翼が体験したアメリカの幼児教育）
第9回　10月31日（火）
題目「活性酸素のお話」
上野郁子会員（副題：黄変米毒素の研究）
第10回　2月12日（火）
題目「国際精神里親運動」
5．お祝いのはがき（卒寿、米寿、傘寿）を送る。

広報委員会　鷲崎千春

事業報告（2001年度）
会報『JAUW』発行（4回）
本年度の当協会の事業と活動の報告、第27回IFUW総会関連記事などを編集し、会員と関係諸機関に発送。
202号（10頁）2001年6月20日発行、各支部宛送付。
203号（4頁）2001年11月25日発行、各会員宛送付。

事業計画（2002年度）
会報『JAUW』（206号～209号）発行の予定。
204号（6頁）2002年2月1日発行、各支部宛送付。
205号（2頁）2002年3月1日発行、各会員宛送付。

会員委員会　秋月　薫

事業報告（2001年度）
1．会員の現状把握。
2．会費納入の推進。
3．会員の増強。
4．「サロンJ」を開催。
5．お祝いのはがきを送る。
卒寿、米寿、傘寿、を迎えられる会員にお誕生日に合わせて寿はがきを送る（はがきは会員委員会で作成）。
その他　リーフレット作成、名簿を年2回打ち出し。

事業計画（2002年度）
1．会員の現状把握。
2．会費納入の推進。
3．会員の増強。
4．年3回くらい「サロンJ」を開催予定。
5．お祝いのはがきを送る。
卒寿、米寿、傘寿、を迎えられる会員にお誕生日に合わせて寿はがきを送る（はがきは会員委員会で作成）。
その他　リーフレット作成、名簿を年2回打ち出し。

支部報告

※各支部の通常総会・全国セミナー出席の報告は省略します。

小樽支部

会員数　38名
支部会費　2500円
事業報告（2001年度）
4月5日　北海道男女共同参画プラン推進協議会（以下プラン協）監査（支部長出席）
4月19日　プラン協　理事選考委員会と第1回理事会（支部長出席）
4月21日　支部総会
5月3日　第1回　自然・文化・歴史を訪ねる会　真駒内公園・かたくりの花
5月17日　プラン協　代表者会議（支部長出席）
男女共同参画研究講座（2名参加）
5月19日　第1回役員会
6月25日　プラン協　臨時理事会（支部長出席）
7月2日　本部ホームページに札幌支部データ掲載（以下8月、9月、11月、12月、2月更新）
7月5～10日　20周年記念かな書道講座作品展（アートスペース201）
7月14日　第2回役員会
7月28日　第1回例会　お話とスライド「華麗なる障壁画の世界」　講師　川本桂子会員
7月30日　女性プラザ祭実行委員会（支部長出席）
8月9日　プラン協　第2回理事会（支部長出席）
9月1日　第2回　自然・文化・歴史を訪ねる会　小樽能楽堂
9月8日　第3回役員会
9月27日　プラン協　臨時理事会（支部長出席）
10月6日　第2回例会　小樽海陽亭―見学とお食事
10月20日　第3回例会　講演と話し合い「教育の展望」　講師　関文子会員
ミニ・バザー
11月5日　女性プラザ祭打ち合わせ（支部長出席）
11月15日　女性プラザ祭（情報交換会）とプラン協夕食会（支部長出席）
11月17日　第4回役員会
12月1日　第4回例会　お話「現代中国女性の生き方　自立する女達」　ゲスト　邢玉芝さん
1月12日　新年会
2月9日　第5回役員会
2月16日　第5回例会「全国セミナー報告と話し合い」
3月16日　第6回役員会
各委員会の活動
1．財務委員会　古典輪読会、かな書道講座、俳句同好会、第2回例会、ミニバザー担当
2．国際委員会　第4回例会担当
3．女性委員会　第5回例会担当
4．報道委員会　JAUW SAPPOROミニ・ニュース（128～131号）発行、第3回例会担当
5．文化委員会　自然・文化・歴史を訪ねる会、絵を描く会、第1回例会担当

札幌支部

村上　和美

会員数　38名
支部会費　2500円
事業報告（2001年度）
4月5日　北海道男女共同参画プラン推進協議会（以下プラン協）監査（支部長出席）
4月19日　プラン協　理事選考委員会と第1回理事会（支部長出席）
4月21日　支部総会
5月3日　第1回　自然・文化・歴史を訪ねる会　真駒内公園・かたくりの花
5月17日　プラン協　代表者会議（支部長出席）
男女共同参画研究講座（2名参加）
5月19日　第1回役員会
6月25日　プラン協　臨時理事会（支部長出席）
7月2日　本部ホームページに札幌支部データ掲載（以下8月、9月、11月、12月、2月更新）
7月5～10日　20周年記念かな書道講座作品展（アートスペース201）
7月14日　第2回役員会
7月28日　第1回例会　お話とスライド「華麗なる障壁画の世界」　講師　川本桂子会員
7月30日　女性プラザ祭実行委員会（支部長出席）
8月9日　プラン協　第2回理事会（支部長出席）
9月1日　第2回　自然・文化・歴史を訪ねる会　小樽能楽堂
9月8日　第3回役員会
9月27日　プラン協　臨時理事会（支部長出席）
10月6日　第2回例会　小樽海陽亭―見学とお食事
10月20日　第3回例会　講演と話し合い「教育の展望」　講師　関文子会員
ミニ・バザー
11月5日　女性プラザ祭打ち合わせ（支部長出席）
11月15日　女性プラザ祭（情報交換会）とプラン協夕食会（支部長出席）
11月17日　第4回役員会
12月1日　第4回例会　お話「現代中国女性の生き方　自立する女達」　ゲスト　邢玉芝さん
1月12日　新年会
2月9日　第5回役員会
2月16日　第5回例会「全国セミナー報告と話し合い」
3月16日　第6回役員会
各委員会の活動
1．財務委員会　古典輪読会、かな書道講座、俳句同好会、第2回例会、ミニバザー担当
2．国際委員会　第4回例会担当
3．女性委員会　第5回例会担当
4．報道委員会　JAUW SAPPOROミニ・ニュース（128～131号）発行、第3回例会担当
5．文化委員会　自然・文化・歴史を訪ねる会、絵を描く会、第1回例会担当
事業計画（2002年度）
1．各委員会担当による例会、各講座等の継続。
2．ミニ・ニュースの発行。
3．その他支部総会で協議。

函館支部

大沼　行子

会員数　8名
支部会費　4000円
事業報告（2001年度）
5月19日　支部総会
7月21日　当支部の研究テーマの〝南北海道に於ける幼児教育の実態について〟の研修。
7月30日　函館未来大学の講義のために来函の藤村久美子会員（本部教育委員長）と、函館の大学生気質や東京支部で研究の幼児教育の研究について話し合い、有意義な時を過ごした。
9月22日　幼児教育の基礎的なものについての話し合い。
11月24日　函館短期大学付属幼稚園の生活体験発表会に会員3人が出席、その報告を聞いた。
1月19日　新年会
3月23日　本年度の反省
事業計画（2002年度）
5月　支部総会
7月　研究テーマ「南北海道に於ける幼稚園教育について」
9月　同右　完成の予定
11月　芸術鑑賞
1月　新年会
3月　今年度の反省

秋田支部

橋本　澄子

会員数　27名
支部会費　2000円
事業報告（2001年度）
4月18日　会計監査
4月20日　新役員会議、新旧役員引継ぎ。
5月15日　金融広報委員会（川原副支部長）
5月22日　ハーモニープラザ（男女共同参画センター）利用者懇談会（橋本）
5月26日　支部総会（出席15名、委任状2名）
6月27日　調査研究協議会
6月28日　支部だより2001－2発行。
7月19日　本部教育委員会受託保育園でのインタビュー。
7月26日　パソコン講座
10月21日　同右まとめを県へ送付。
10月24日　ハーモニープラザ利用者懇談会（川原）
11月10日　第4回研修会　小野寺秋田県教育長を囲み懇談会。桜蔭会と共催「秋田県の小・中・高に於ける主な施策について」　一般公開。
11月13日　プラツLネットワーキング、展示、バザー（橋本・川原・馬場・岩見・金田）共通イベント「21世紀の家族を考えよう！」（川原）
12月6日　施設見学「秋田市リサイクルプラザ」（川原）
12月21日　「生活設計、家計管理講習会」「暮らしの問題気づき講座」（橋本・湊）
1月20日　新年会「親睦・交流」バイオリン演奏・クイズ他
2月1日　松葉谷温子氏市助役就任祝賀パーティー（橋本）
2月7日　市企画調整課へ市民活動団体アンケート提出。
2月16日　ハーモニーネット交流研修会（橋本）
2月25日　市婦団連主催事業　暮らしを考える集い　ゴミ問題（菅原・馬場）
2月　ビーナ・ロイ開発プログラムへの送金。
3月20日　支部会報第10号発行（編集会議　1／28、2／22、3／1、3／11発送3／22）
事業計画（2002年度）
1．支部総会
2．施設より高校進学者への入学祝い金贈呈。
3．研修会（2～3回）
4．親睦会（新年会）
5．バザー開催。
6．国際支援協力（ビーナ・ロイ、CCWA等）
7．支部会報第11号発行。
8．他団体との協力
9．その他支部総会で決定。

仙台支部

飯岡　絹子

会員数　30名
支部会費　3000円
事業報告（2001年度）
4月6日　役員会
4月6日　読書会　「そうたのか」現代史　池上彰氏
4月18日　役員会
5月23日　第6回支部総会（出席16名　委任状17名）
6月1日　読書会
6月8日　役員会
6月24日　公開鼎談　宮城県美術館20周年記念「つくるということ」　講師　佐藤忠良氏、安野光雅氏、山根基世氏
7月7日　仙台男女共同参画財団設立記念講演会　基調講演　有馬真喜子氏
7月11日　各女連正副会長会議　飯岡支部長出席。
7月13日　読書会
9月7日　読書会　テキスト　JAUW2000年度全国セミナー「女性のエンパワーメント―男女共同参画社会の確立をめざして」その3
9月19日　各女連国際交流会について　青木満里子会員
11月8日　役員会
11月23日　宮城県主催〝男女共創ネットワークフェスタ2001〟　テーマ「自分らしく共に歩こう、男と女」
特別講演　上野千鶴子氏　大会メッセージ「安心して産める、安心して老いる地域作り」
11月30日　読書会
12月11日　役員会
1月28日　役員会
2月4日　各女連　平成13年度研修会
2月7日　新年会　講話「伊達政宗の陣羽織」　石井美奈子氏
2月25日　例会　講話「男と女　共育て・共働き」　谷地森涼子会員
事業計画（2002年度）
1．役員会（6～7回）
2．総会
3．例会（新年会を含む）
4．読書会
5．2003年JAUW通常総会仙台開催に向けて準備委員会を立ち上げる。
6．講演会

新潟支部

小林　裕子

会員数　87名
支部会費　2000円
事業報告（2001年度）
4月28日　支部総会（出席者29名、委任状44通）
5月26日　5月例会　講演「私の経験から見た学校現場の校務分掌と男女平等教育」　講師　丸山喜美氏　前小学校校長　五十嵐啓子氏　前中学校生徒指導主事
6月23日　6月例会　講演「情報を読み解く―メディアリテラシー入門―」　講師　吉村洋子会員
7月28日　7月例会　講演「『恨の彼方に』と　崔恵淑さんのこと」　講師　小林美代子会員
8月　発展途上国女子学生1名に奨学金贈呈。於：ベトナム
9月1、2日　新潟市消費者協会主催不用品交換会に参加。
9月6日　県立女子短大の4年制化に向けての陳情に参加。
9月22日　9月例会　講演「男女共同参画社会の実現に向けて」　講師　石川伊織氏　県立女子短大助教授
10月27日　親睦旅行　紅葉の法師温泉と三国街道の旅
11月23日　ジョイントコンサート　高橋雅代氏（ピアノ）　井上静香氏（バイオリン）
12月8日　第52回奨学賞を贈るつどい・忘年会　受賞者4名
1月18日　キャロリン・ビークロフトさん（カナダ大学婦人協会会員）と会談。
2月23日　2月例会　講演「不思議がいっぱい―イタリアの魅力―」　講師　小林美代子会員
3月23日　3月例会　反省会
＊役員会　10回、4部会担当者打ち合わせ数回。
＊他団体への参加・協力　新潟県女性財団、新潟県・市消費者協会、にいがた女性会議、新潟県・市国際交流協会、その他
事業計画（2002年度）
4月　支部総会
5月25日　公開講演会　講師　韓国の女性教師
11月23日　コンサート
＊例会（5月以降8月と翌年3月を除く毎月第4土曜日午後）、奨学賞を贈るつどい、小旅行など、支部総会で詳細を決定。

茨城支部

松本由美子

会員数　66名
支部会費　2000円
事業報告（2001年度）
4月18日　「源氏物語講座」前期開講。
4月21日　支部総会
5月15日　茨城県陶芸美術館見学。
5月9日　支部だより2001－1発行。
5月26日　支部定例会　全国セミナーに向けての講話「男女平等教育Part II」
6月27日　調査研究協議
6月28日　支部だより2001－2発行。
7月19日　本部教育委員会受託保育園でのインタビュー。
7月26日　パソコン講座
7月28日　支部定例会　国際協力セミナー
8月24日　シンポジウム準備作業
8月26日　支部定例会　シンポジウム「男らしさの再定義」
9月1日　支部だより2001－3発行。
10月17日　「源氏物語講座」後期開講。
11月25日　支部定例会　「筑波宇宙センター見学&講話と話し合い」
1月17日　支部だより2001－4発行。
1月26日　支部定例会兼新年会
2月16、17日　支部主催「IT活用講座」開催。
2月18日　支部だより2001－5発行。
3月2、3日　支部主催「IT活用講座」開催。
3月16日　支部定例会　その他役員会7回、全国セミナーのための検討・協議5回
◎他団体との共催・協力参加事業
4月20日　茨城県女性団体連盟総会
6月29日　茨城県婦人会館主催「ふれあい学習会」
7月1日　茨城県主催「茨城県男女共同参画推進条例制定記念県民フォーラム」
7月8日　茨城県婦人会館　福祉バザー
7月28日　前期国際協力セミナー　講話と朗読のつどい　「海を渡った再生自転車」
9月9日　後期国際協力セミナー　講演と映画のつどい「センス・オブ・ワンダー」
9月28、29日　日本女性会議2001みと
10月9日　明るい選挙推進「女性のつどい」
2月15日　茨城県女性団体連盟研究発表集会
＊その他機関・団体への出席（茨城県女性団体連盟役員会・総務企画委員会・活動委員会・広報委員会・茨城県女性海外派遣事業実行委員会、茨城県婦人会館理事会・評議委員会・企画事業委員会、国際協力セミナー実行委員会、その他女性団体連盟　代表議長および議長として各種会議・会

合出席多数）
事業計画（２００２年度）
◎主催事業
1．定例会の開催（奇数月の第4土曜日）。
2．支部だより及びお知らせの発行。
3．「源氏物語講座」の開催。
4．「情報講座」の開催。
5．その他目的に応じた事業
◎他団体との共催・協力・参加事業
1．茨城県女性団体連盟構成団体としての事業
2．茨城県婦人会館の構成団体としての事業

栃木支部

友枝 純子

会員数　38名
支部会費　１０００円
事業報告（２００１年度）
6月17日　支部総会
総会後祝賀会開催
森山真弓会員　法務大臣就任祝い
落合悦子会員　勲6等宝冠賞受賞祝い
11月17日　支部奨学賞贈呈式　受賞者6名
2月9日　支部新年会
事業計画（２００２年度）
6月　支部総会
11月　支部奨学賞贈呈式
2月　新年会

群馬支部

植原 映子

会員数　10名
支部会費　１０００円
事業報告（２００１年度）
7月7日　支部総会
2月23日　新年会・新会員歓迎会
2月11日　例会
事業計画（２００２年度）
7月　支部総会
2月　群馬支部新年度を考える会

長野支部

掛塚 芳子

会員数　14名
支部会費　１０００円
事業報告（２００１年度）
6月　支部総会
●長野支部の歩み（設立～現在）発行。
●海外研修の報告「アンコールワットを見学して」三田コト会員
9月　役員会
1月　役員会　定例会
2月　●長野支部会員増強について
●２００２年事業計画の提案。
高齢化（者）のライフコース研究と実践。
地域社会へ何ができるか、など。
事業計画（２００２年度）
1．高齢化の割合が高い長野県の女性のライフコース研究（面接、ケース研究）仮題「生き生き高齢者から学ぶ」
2．地域社会へ支部会員の出来ることは何か「検討と実践」

東京支部

坂上栄美子

会員数　515名
支部会費　３０００円
事業報告（２００１年度）
4月1日　第44回通常総会を東京で開催。
4月21日　支部総会
記念講演「仕事と私」
講師　羽田澄子氏
5月28日　見学会　旧古河庭園
6月5日　講演会「もっと楽しく美しく生きるために」
講師　湯川れい子氏
6月27日　講演会「テレビ記者の見たアメリカ大統領」
講師　末延吉正氏
7月1日　支部会報『ともしび』第30号発行。
7月25日　羽田澄子監督映画ビデオ鑑賞会「安心して老いるために」
8月10～17日　ＩＦＵＷオタワ総会に出席。
9月26日　講演会　「ルネサンスの華　エリザベス女王の肖像」
講師　石井美樹子氏
10月24日　講演会「いのちを考える」
講師　木村利人氏
11月12日　見学会　旧古河庭園
12月12日　講演会（科学研究奨励委員会と共催）
「電気を導くプラスチックの発見とノーベル賞」
講師　島美喜子科学研究奨励委員長
12月17日　クリスマスコンサート
演奏者　太田茂氏　太田嘉子氏　石橋衣里氏
1月12日　新春のつどい
国内奨学金贈呈式（国内奨学委員会・社会福祉委員会と共催、奨学金の一部として10万円寄付）
3月1日　支部会報『ともしび』第31号発行。
＊委員会：毎月第2水曜日
＊バザー：奨学金などの活動資金を得るため随時開催。
＊サークル：英語講座・東京漫歩くらぶ・源氏物語を読む会（Ⅰ）（Ⅱ）
楽しい俳句会（札幌支部と文書による交換句会）・フラワーデザイン
＊対外活動：国連難民高等弁務官事務所「アフガン難民緊急ファンド」に5万円寄付。
中野盲人自立センターに使用済み切手とカードを寄付。
サークル源氏物語を読む会（ⅠとⅡ）よりＪＡＵＷ本部へ各2万円寄付。
事業計画（２００２年度）
4月20日　支部総会
記念講演「この頃の話」
講師　山田太一氏
5月20日　講演会「21世紀の女性の生き方」
講師　水島広子氏
以降の計画は委員会において決定。

神奈川支部

堀 美知子

会員数　43名
支部会費　２０００円
事業報告（２００１年度）
4月21日　支部総会
講演「バイオからヒトゲノムまで―最近の生物学と女子学生の進路」
講師　金子堯子国内奨学委員長
5月9日　例会：横浜動物園ズーラシア見学。
講演「横浜動物園の意義と今後の課題」
講師　増井光子氏　横浜動物園園長
6月11日　臨時支部便り発送、支部員アンケート実施。
7月13日　支部記録委員会第1回ミーティング　松比良節子会員他数名（以後5回）
7月14日　例会：初級者パソコン実習、ＮＴＴよこはま遊電池見学。
8月10～18日　第27回ＩＦＵＷオタワ総会に4名出席。
9月15日　例会：ＩＦＵＷ総会出席者の松比良、穐田、森山（東京支部）会員より報告。
例会に先立ち、国内奨学生応募書類を選考、支部から4名を選考委員会へ推薦。
12月15日　例会及び忘年会（午後のひとときの語らい）：支部記録の資金に関する討議、本部委員会からの報告。
1月12日　ＪＡＵＷ新春のつどいに参加。
当支部よりの推薦者、大嶋千春さんが国内奨学生として授与される。
3月16日　例会：「国内奨学生、大嶋千春さんとの交流」

静岡支部

越村とくゑ

会員数　72名
支部会費　２０００円
事業報告（２００１年度）
4月21日　支部総会
講演会「古代インドに魅せられて」
杉田瑞枝会員
5月13日　静岡県主催　男女共同参画社会づくりシンポジウム参加。
5月19日　全国セミナーのための学習会開始、10回開催。
テーマ「家庭で、学校で、男女共同参画は進んだか―中学校での15年後の再調査」
責任者　中川貴代会員
5月21日　親睦会「しずおか緑・花・祭」見学と静波スウィング・ビーチで昼食。
7月30日　静岡県女性総合センター交流会議主催。
交流会議フェスティバル「ふじのくに男女参画の日」参加。
団体発表「女性のエンパワーメントによる男女共同参画を目指して」
公開講演会「家庭で、学校で男女共同参画は進んだか」
講師　柏木恵子氏　白百合女子大学教授
9月17日　国内奨学生に2大学より学部生・大学院生各1名の応募があり、国内奨学委員会へ推薦、不採用のため支部より奨励金を贈呈。
11月9日　セミナー報告会
11月22日　国会見学（上川陽子会員の案内）と東京都庭園美術館鑑賞。
1月26日　新年会
公開講演会（2回シリーズ）
講師　大坪檀氏　静岡産業大学学長
2月23日　「日本経済の現状と展望」
3月23日　「静岡県経済の現状と展望」
◎対外活動・その他
＊静岡県女性総合センター交流会議、静岡県女性団体代表者会議、ユニフェム国内会議所属
＊曹洞宗国際ボランティア会、シャプラニール（市民による海外協力の会）、ORCHID-Nepal 支援。
＊楽寿の園奉仕　毎月1回
＊役員会　隔月
＊支部だより発行。
事業計画（２００２年度）
4月20日　支部総会にて決定。

愛知支部

泉 ひさ

会員数　63名
賛助会員　2名
支部会費　２０００円
事業報告（２００１年度）
4月22日　支部総会
講演「国際結婚の社会学」
講師　竹下修子氏　愛知学院大学非常勤講師
5月27日　第1回例会
講演「女性のためのメンタルヘルスケア」
講師　伊藤容子氏　八事クリニック医院長
6月24日　第2回例会
講演「しつけの世代連鎖」
講師　長谷川博一氏　東海女子大学教授
7月29日　第3回例会
講演「少年法の光と影」
講師　丸山雅夫氏　南山大学法学部教授
8月8～17日　ＩＦＵＷオタワ総会へ支部長他13名出席。若手会員によるワークショップ・姉妹支部 North Vancouver 支部との交流。
9月30日　第4回例会
講演「現代の子育てとアイデンティティ」―非行少年に学ぶ―
講師　井戸平八郎氏　愛知淑徳大学非常勤講師
10月10、11日　18th国際協力ふれあいフェスティバル〝２００１〟参加協力者　鈴木キヨノ他8名
10月25日　研修旅行　目的地：奥三河国定公園天竜峡・前田青邨記念館
11月16日　「能」鑑賞会
能　井筒　狂言　栗焼
1月14日　新年会
薬膳会席（中国料理）福引プレゼント
2月17日　第5回例会　奨学生の研究発表。
(1) 演題「老人保健事業による基本健康診査受診と国保医療費との関連」
講師　竹内清美さん　２００１年度安井医学奨学金受賞者・愛知医科大学大学院4年生
(2) 演題「大学生となって」
講師　山川峰子さん　南山大学経営学部3年生
3月9日　支部役員会
その他
1．名古屋市男女共同参画推進会議参加。
2．ＪＡＵＷ愛知支部ニュース7回発行。
4月21日　支部総会にて決定。

岐阜支部

松井 恵美

会員数　10名
支部会費　２０００円
事業報告（２００１年度）
4月10日　支部だより発送
5月19日　支部総会　支部会員倍増キャンペーン説明、協力依頼。
5月30日　支部だより発送
7月7日　ＪＡＵＷ会報202号と支部だより発送。
8月10日　支部だより発送。
（杉山智子会員が岐阜市男女共同参画室長に民間から選ばれ就任のことを報告）
9月4日　支部だより発送。
9月29日　新岐阜市男女共同参画室長杉山智子さんを囲むお茶の会を開催。
12月12日　支部だより及び全国セミナー決議事項などのコピー。
1月20日　支部だより及び新設女性センター開館イベント案内と女性フォーラム21ちらし発送。
「女性フォーラム21」への参加呼びかけ。
2月16日　「女性フォーラム21」に有志参加。
2月20日　支部だより発送。
3月10日　支部親睦会開催。
事業計画（２００２年度）
5月　支部総会（会員倍増キャンペーン続行）
10月　勉強会
3月　親睦会
1月30日　支部役員会
2月17日　新年会　金沢大学留学中のネパールの女性を招き、昼食後「ネパールの社会と文化」と題して話を聞く。
3月末日　タイ＝バンコクのドゥアン・プラティープ財団へ奨学金を贈る。
事業計画（２００２年度）
5月　研究会
6月30日　支部総会
9月15日　敬老の日に80歳以上の会員にお祝いの品を贈る。
9月　研究会
11月　研究会
12月　年末寄付を募り、例年通り2団体へ贈る。
2月　新年会
3月末日　タイ＝バンコクのドゥアン・プラティープ財団へ奨学金を贈る。
事業計画（２００２年度）
5月　研究会
6月30日　支部総会
＊提案　セミナー研究会について、グループ活動についてのテキスト『しぐさの比較文化』英文、和文
9月30日　第27回国際婦人年京都集会に参加。
10月16日　セミナー研究会
10月23日　例会　京セラ見学会　講演「ソーラー発電システムの開発」
11月17日　例会　公開講演「こんにちは赤ちゃんでは遅すぎる」0次予防、増え続ける子供たちの異常の背景を考える
講師　上瀬英彦氏　上瀬クリニック所長
11月20日　セミナー研究会
グループ活動開始。
12月8日　例会　オタワ総会・全国セミナー・ユネスコ主催「アジア地域女子教育会議」の報告。
12月18日　セミナー研究会
＊２００１年度奨学生に当支部推薦の中から2名選出との報告。
1月22日　セミナー研究会
1月26日　新年会　伝統芸能鑑賞など
2月1日　京都府女性団体懇談会に出席。
2月19日　午前：運営委員会
午後：セミナー研究会
2月23日　例会　公開講演「よみがえれ！　学力」
講師　上野健爾氏　京大理学研究科数学教室教授・総合学習を考える学会会長
3月18日　セミナー研究会
3月25日　ＪＡＵＷ要望書を関係諸機関に提出。
事業計画（２００２年度）
4月27日　支部総会
公開講演　「精神科医から見た日本人」
講師　木村敏先生　精神病理学者
5月　国内奨学生水谷恭子さんの報告会
＊２００１年度の活動方針を継続し、例会活動、セミナー研究会、グループ活動を行う。

奈良支部

久留島涼子

会員数　59名
支部会費　１０００円
事業報告（２００１年度）
4月16日　役員会
5月5日　支部総会
講演「水道原水中の環境ホルモンは処理できるの」
講師　山田春美氏　京都大学工学部付属質制御研究センター助手
6月23日　全国セミナー発表に向けての会議
テーマ「女性のエンパワーメントと大学―関西圏の大学を中心に」
9月14、15日　スポーツとリクレーションの会
第3回「心と体のリクレーション」
9月17日　国内奨学生候補者推薦、大学院からの推薦者2名が採用。
10月20日　音楽鑑賞会
第14回奈良大学コンサート「ライプツィヒ弦楽四重奏団」による演奏
12月15日　全国セミナー報告会および忘年会
2月15日　新年の集いと支部奨学金授与式、講演会および役員会
講演1「『古事記』の作品論的研究―生と死の側面から―」
講師　阪口由佳さん　奈良女子大学大学院人間文化研究科
講演2「高齢者の栄養指導と血液の抗酸化性評価」
講師　中柴陽子さん　奈良女子大学大学院人間文化研究科
講演3「ＧＩＳと21世紀の双方向性型社会」
講師　寺尾京子さん　奈良大学文学部地理学専攻
その他　奈良県男女共同参画推進協議会事業計画実施への参加。
7月26日　第1回事業実行委員会（以後4回）
2月16日　奈良県男女共同参画推進協議会平成13年度事業
男女共同参画プラザの実行、その他。

事業計画（2002年度）
5月11日　支部総会開催
新事業計画はその時に選出される新役員により決定。

大阪支部

西野　博子

会員数　69名
支部会費　2000円
事業報告（2001年度）
4月21日　能楽鑑賞会
4月23日　支部総会
支部役員会
5月27日　5月例会　歴史散歩　天神橋六丁目―大阪住まいのミュージアム（なにわ、大坂、大阪の今昔）―天神橋筋商店街―天満の天神さんの見学
講師　長山雅一氏　流通大学教授・都市研究家
6月30日　6月例会「男女共同参画社会の実現に向けて」会員有志からの話題提供とディスカッション。
7月28日　7月例会　研修会「男女共同参画社会の実現に向けて」
講師　馬越かよ子氏　大阪府生活文化部次長
8月8～19日　IFUWオタワ総会に2名出席。
9月22日　研修会「21世紀共生社会における男女の生き方と子育てを巡る研究」アンケート報告。
講師　岡佐智子会員　大谷女子大学教授
10月3日　10月例会「養護施設見学と薬師寺・唐招提寺見学」日帰りバスツアー。
養護施設「生駒学園」
（事情があって両親と生活を共にできない子どもたち100余名が生活している施設）―薬師寺―唐招提寺
11月5日　11月例会　文化的行事
講演会「涙」ビデオ鑑賞と講演
講師　楠田芳子氏　脚本家
12月1日　12月例会　研修会「人生いろいろ」
講師　中川春江氏　大阪家庭裁判所家事調停委員
12月6日　教養講座「水墨画」干支年賀状つくり
講師　西浦布容子氏
1月　支部会報の発行。

1月27日　1月例会　懇親新年会、新入会員との親睦と会員増強に向けて。
3月23日　3月例会　教養講座「バングラデシュの女性支援」
講師　飯尾光子会員
事業計画（2002年度）
4月　支部総会
5月　歴史散歩
6月　研修会「女性と法」
7月～9月　全国セミナーに向けての研修会
10月　親睦バスツアー
12月　教養講座
1月　新年会
2月～3月　研修会

神戸支部

樋口　幸子

会員数　149名
支部会費　2000円
事業報告（2001年度）
4月21日　支部総会
5月19日　講演「不登校とフリースクールの現況」
講師　田中英雄氏　ラミスクール校長
6月17日　〝簡単で美味しいイタリア料理に挑戦〟
講師　豊木玉枝氏　料理研究家
7月14日　パネルフォーラム～不登校の現場から～
講師　高橋智子氏　県立神戸高塚高校教師
中島絢子氏　子どもの人権と健康を考える会主宰
荻野桂子氏　芦屋市適応教室〝のびのび学級〟指導員
8月　IFUWオタワ総会に14名出席。
9月22日　講演「武庫川ダムと総合治水～本当に必要な治水対策とは～」
講師　大日向美那子会員　総合治水を考える連絡協議会運営委員
10月14日　フリーマーケットに出店。芦屋市社会教育協議会共催
11月22日　バスツアー〝丹波里の秋〟40名参加。
12月8日　〝国際交流のつどい〟
古澤峯子会員（神戸日豪協会副会長）のオーストラリア勲章の受賞を祝って
C・グレイ博士　元ハーバード大学上級研究員
「イスラム諸国の人々とくらし」
1月18日　ニューイヤー・ランチ・パーティー（国内奨学生に対し奨学金を贈呈）
「遥かなる旅～ロマンある飛天を求めて～」
講師　吉永邦治氏　画家
ミニコンサート　ソプラノ：田中嘉壽子会員
3月9日　「神戸国際交流フェア2002」に参加。
3月17日　「女性センターフェスタ」に参加。
その他
＊毎月役員会を開催し、月1回「支部だより」を発行。
＊第45回通常総会開催の準備のための実行委員会を8回開催。
＊ビーナ・ロイ寄金継続。
＊同好会として月1回の読書会とダンス同好会を実施。
＊JAUW神戸支部ボランティアグループ「芦の会」の活動。
事業計画（2002年度）
4月14日　第45回通常総会
神戸で開催。
4月27日　支部総会
＊ビーナ・ロイ寄金と同好会など従来のものは継続予定。
＊会員相互の交流を深めるため、月1回例会をもち、従来どおり講演会その他開催予定。

民族衣装で熱唱するバイマー・ヤンジンさん。歌声は、チベットの草原にこだまして…（懇親会4月13日）

岡山支部

村岡　知子

会員数　69名
支部会費　2000円
事業報告（2001年度）
5月12日　支部総会
会員からの報告「公安委員という仕事」喜多嶋美枝子会員
「子供ミュージカルを作って」本羽恵子会員
5月26日　第1回例会（1）
「女性のエンパワーメントのための生涯教育」岡山県男女共同参画推進センターへの参加。
講演会「フェミニズムについて」
講師　江原由美子氏　都立大学教授
6月10日　第1回例会（2）
講演会「男でもなく、女でもなく」―〝性という属性〟からの自由と限界―
講師　蔦森樹氏　作家・評論家
6月27日　映画鑑賞会　津田塾同窓会主催
『夢は時を越えて・津田梅子が紡いだ絆』
7月14日　第2回例会
「建学の精神と女子教育」―今だからこそ女子大学にこだわる理由（ワケ）―
講師　大黒トシ子氏　山陽学園大学・山陽学園短期大学学長
9月8日　第3回例会
「女子留学生の受け入れと帰国後の活動」
講師　齋藤美智子氏　岡山大学留学生センター教授
留学生3名　黄艶萍（中国）　鄭美我（韓国）
カンデス・ジン・ティモネラ・タヒミック（フィリピン）
9月28日　「外交の窓in岡山」に協力参加。岡山県国際交流協会主催
10月27日　「外国人による日本語弁論大会」のためのバザー
新品不用品・手作り品・新鮮野菜・果物　大学祭
ISAに合流。
11月23日　「外国人による日本語弁論大会」当日用ケーキ焼き
11月25日　第18回「外国人による日本語弁論大会」
12月9日　第4回例会　第一部：IFUWオタワ総会報告、全国セミナー報告。
弁論大会報告および反省会
第二部：懇親会（弁論大会出場者とともに）
2月23日　第5回例会　見学小旅行　修復完成披露展示会場
「ミス岡山」USAから修復のため帰国中の親善人形
県指定史跡・野崎家旧宅見学。
事業計画（2002年度）
5月12日　支部総会
6月　第1回例会
9月　第2回例会
11月　第19回「外国人による日本語弁論大会」
9月、10月　準備およびバザー
12月　弁論大会反省会および出場者との交歓会
1月　第3回例会
3月　第4回例会
その他：登録団体としての共同活動。
ウイズセンター（岡山県男女共同参画推進センター）
さんかく岡山（岡山市共同参画社会推進センター）
5月19日　広島市女性団体連絡会議総会
5月20日　第1回マスコミ・モニター委員会（以後4回）
5月26日　広島県の女性の地位向上と社会参画をすすめる会第1回全員会・親睦会（9／29第2回、9／22第3回）
5月27日　広島市女性団体連絡会議「広島市男女共同参画条例（案）」シンポジウム
6月7日　広島県女性会議第31回評議員会（11／29第32回）
7月6日　日本学術会議・市女性教育センター・女性団体グループ連絡会共催講演会
「生き方の多様性を認め合う社会に」
7月7日　ひろしま女性大学公開講座「国際化と平和」
7月7日　広島県の女性の地位向上と社会参画をすすめる会（第1回家庭・教育部会）（以後5回）
7月31日　広島市女性団体連絡会議主催「ヒロシマ平和の灯のつどい」
9月22、29日　広島市女性団体連絡会議主催ディベート勉強会
11月17日　広島県の女性の地位向上と社会参画をすすめる会（家庭・教育部会）講演会
講師　塚村英幸氏（広島県中央児童相談所）
11月17日　男女共同参画社会づくりセミナー（市女性団体連絡会議・広島市主催）
一緒にディベートを楽しもう
2月24日　第40回広島市女性団体・グループ交流会
3月12日　広島県の女性の地位向上と社会参画をすすめる会（家庭・教育部会主催研修会）
大国和江氏「児童虐待及びDV等家庭内における暴力の最近の動きについて」
事業計画（2002年度）
4月20、27日　支部役員会・総会
5月　新年度役員会
支部例会を4回開催予定。

山口支部

松岡　静子

事業計画（2002年度）
弱小支部の今後のあり方について関係各位と検討をし、再出発に向けて活動する。
事業報告（2001年度）
5月12日　支部総会
講演会「ガールスカウト活動に携わって」
講師　森山禎子氏　ガールスカウト日本連盟大分支部長
5月25日　県男女共同参画週間記念行事参加。
8月10～17日　IFUWオタワ総会出席。
10月5日　モンペリエ第三大学教授ミシェル・ゲロ氏を日田市にご案内。
10月6日　講演会「古代ローマの女性たち」
講師　ミシェル・ゲロ氏　モンペリエ第三大学教授
通訳　井上富江会員　別府大学教授
交流会（ミシェル・ゲロ氏を囲んで）
10月29、30日　山本会長来県（夕食会と湯布院ご案内）
12月15日　県男女共生フェスタ参加。
2月24日　県男女共同参画会議講演会
3月30日　『クラルテ　第5号』発行。
＊源氏物語講座　毎月2回（第2・4木曜日）
事業計画（2002年度）
1．前年度からの男女共同参画社会の実現にむけて積極的に取り組む。
2．異文化理解に努め、アジア、米欧諸国との交流に他機関と協力しながら努力する。
3．例会はできるだけ開き、会員の拡大に取り組む。
4．セミナーにできるだけ参加する。

高知支部

会員数　20名
支部会費　3000円
事業報告（2001年度）
5月12日　支部総会
講演会「ガールスカウト活動に携わって」
講師　森山禎子氏　ガールスカウト日本連盟大分支部長
5月25日　県男女共同参画週間記念行事参加。
8月10～17日　IFUWオタワ総会出席。
10月5日　モンペリエ第三大学教授ミシェル・ゲロ氏を日田市にご案内。
10月6日　講演会「古代ローマの女性たち」
講師　ミシェル・ゲロ氏　モンペリエ第三大学教授
通訳　井上富江会員　別府大学教授
交流会（ミシェル・ゲロ氏を囲んで）
10月29、30日　山本会長来県（夕食会と湯布院ご案内）
12月15日　県男女共生フェスタ参加。
2月24日　県男女共同参画会議講演会
3月30日　『クラルテ　第5号』発行。
＊源氏物語講座　毎月2回（第2・4木曜日）
事業計画（2002年度）
1．前年度からの男女共同参画社会の実現にむけて積極的に取り組む。
2．異文化理解に努め、アジア、米欧諸国との交流に他機関と協力しながら努力する。
3．例会はできるだけ開き、会員の拡大に取り組む。
4．セミナーにできるだけ参加する。

愛媛支部

柏田　知子

会員数　20名
支部会費　3000円
事業報告（2001年度）
5月12日　支部総会
講演会「ガールスカウト活動に携わって」
講師　森山禎子氏　ガールスカウト日本連盟大分支部長
5月25日　県男女共同参画週間記念行事参加。
8月10～17日　IFUWオタワ総会出席。
10月5日　モンペリエ第三大学教授ミシェル・ゲロ氏を日田市にご案内。
10月6日　講演会「古代ローマの女性たち」
講師　ミシェル・ゲロ氏　モンペリエ第三大学教授
通訳　井上富江会員　別府大学教授
交流会（ミシェル・ゲロ氏を囲んで）
10月29、30日　山本会長来県（夕食会と湯布院ご案内）
12月15日　県男女共生フェスタ参加。
2月24日　県男女共同参画会議講演会
3月30日　『クラルテ　第5号』発行。
＊源氏物語講座　毎月2回（第2・4木曜日）
事業計画（2002年度）
1．前年度からの男女共同参画社会の実現にむけて積極的に取り組む。
2．異文化理解に努め、アジア、米欧諸国との交流に他機関と協力しながら努力する。
3．例会はできるだけ開き、会員の拡大に取り組む。
4．セミナーにできるだけ参加する。

広島支部

舟橋　喜恵

会員数　33名
支部会費　2000円
事業報告（2001年度）
1．JAUW関係
4月28日　支部総会
8月10～17日　IFUWオタワ総会出席。
8月25日　第1回例会「ジェンダーの視点から見たメディアと表現」石井三恵会員
10月20日　第2回例会
「園生活におけるジェンダー」柿本因子会員
11月29日　第1回「メディア・リテラシー」勉強会（以後3回）
1月27日　第3回例会（新年会）
3月17日　第4回例会
「司法改革と国民の司法参加」
講師　前田一昭氏　弁護士・元高等裁判所長官
9月15日　例会　宗像地方史跡探訪バスツアー
講師　松本肇氏　宗像大社学芸員・宮司　伊藤発子会員
10月20～28日　フォーラム参加「まつりアミカス2001～人とひと～」
10月27日　講演会「男女共同参画社会に向けて女性の役割―国際的連帯の中で―」
講師　JAUW山本和代会長
懇談会　山本会長を囲んで
11月9～11日　婦人会館フェスタ2001に参加。
1月20日　例会　新年会とミニバザー
奇恵英会員による卓話「育って育てられる」
2月23日　例会　洪鐘燻氏（九州産業大学講師）をお招きして懇話会
3月13日　例会と反省会
タイ留学生ラカンオーラン・パトゥンポンさんのタイ料理学習会
事業計画（2002年度）
5月の支部総会において決定予定。

熊本支部

佐方　宏子

会員数　26名
支部会費　2000円
事業報告（2001年度）
5月6日　支部総会
6月7、8日　NO₂による大気汚染度全国一斉測定
8月10～18日　IFUWオタワ総会出席（出井ヤスコ会員）。
9月22日　支部例会
IFUWオタワ総会報告
（出井ヤスコ会員）
イベット・レボーヨ氏講話（ボリビア大学婦人協会コチャバンバ支部会員）
10月28日　山本会長をお迎えして昼食会
12月6、7日　NO₂による大気汚染度全国一斉測定
12月上旬　NO₂による大気汚染度全国一斉測定。
2月　支部例会（国際交流）
在熊外国人留学生との意見交換。
事業計画（2002年度）
5月上旬　支部総会
6月上旬　NO₂による大気汚染度全国一斉測定。
7月上旬　第1回支部例会（学習会）
9月下旬　第2回支部例会（見学会）
12月上旬　NO₂による大気汚染度全国一斉測定。
2月　第3回支部例会（国際交流）

福岡支部

和栗　方子

会員数　50名
支部会費　3000円
事業報告（2001年度）
4月28日　支部総会
5月14日　暴力追放推進協議会出席。
5月26日　例会　講演会
「アイルランドの歴史と今日」
講師　スザンヌ・ウェーリー氏　福岡市交換教諭
6月24日　例会　講演会
「司法改革と国民の司法参加」
講師　前田一昭氏　弁護士・元高等裁判所長官
9月15日　例会　宗像地方史跡探訪バスツアー
講師　松本肇氏　宗像大社学芸員・宮司　伊藤発子会員
10月20～28日　フォーラム参加「まつりアミカス2001～人とひと～」
10月27日　講演会「男女共同参画社会に向けて女性の役割―国際的連帯の中で―」
講師　JAUW山本和代会長
懇談会　山本会長を囲んで
11月9～11日　婦人会館フェスタ2001に参加。
1月20日　例会　新年会とミニバザー
奇恵英会員による卓話「育って育てられる」
2月23日　例会　洪鐘燻氏（九州産業大学講師）をお招きして懇話会
3月13日　例会と反省会
タイ留学生ラカンオーラン・パトゥンポンさんのタイ料理学習会
事業計画（2002年度）
5月の支部総会において決定予定。

長崎支部

平野　啓子

会員数　7名
支部会費　未定
事業報告（2001年度）
4月　支部総会
7月　規約検討会
8月　「黒崎伸子　国境なき医師団参加報告会」を他の女性団体と共催で開催、90名参加。
10月　山本会長との懇談会
11名出席（会員6名と一般5名）。
3月　国際奨学生フォダ氏との懇談会
事業計画（2002年度）
1．支部総会及び懇親会（新会員を迎えて）
2．定例会（年4回開催し、主に勉強会）
3．他の女性団体との交流会
4．会員拡大のためのPR活動。

鹿児島支部

大久保美智子

会員数　1名

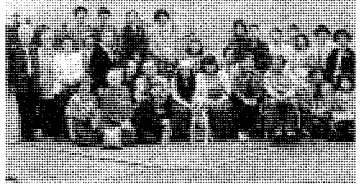
星野富弘氏の絵とことばを訪ねて

5月13日早朝新宿発。卵の花梅雨の晴れ間のバスツアー。車椅子の殿岡さんとアイメイトの栄子（旧姓三村）さんご夫婦、介護の佐藤さん（町田ヒューマンネットワーク）、白杖の宮崎さん達と総勢30名。東京都交通局の協力を得、あふれるばかりの新緑の中を、わたらせ渓谷鉄道を楽しみました。大間々駅近くの渓谷は特にすばらしいスポットでした。

わたらせ鉄道で車椅子を担いで下さった運転手さん達3人、バスのトランクに車椅子の出し入れをして下さったガイドさんに感謝しつつ草木湖の緑に包まれた美術館へ。学芸員がつききりで解説して下さっていました。視覚障害者でも色をしっかり理解していることに驚きました。

目に青葉、空気もおいしく、とりわけ富弘氏の偉業に感嘆。その絵に心和み、充ち足りて帰路につきました。早速三村さんから、お礼状と共にエリックの引退、点字での美術館への寄贈のお手伝いをとEメールを頂きました。

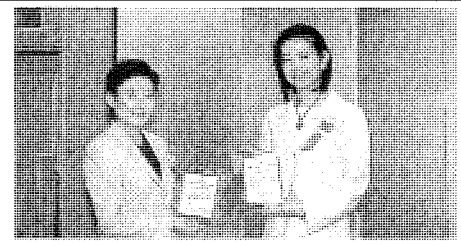
（社会福祉委員会　大島真理子）


写真＝アイメイトのエリックを囲んで

守田科学研究奨励賞受賞者論文概要

転移因子マリナーに関する研究
―日本に生息する異種間での水平伝播の可能性―

琉球大学遺伝子実験センター助手　中島　裕美子



遺伝子を含む核酸や蛋白質、ウイルスなどが親から子へ伝わる「垂直伝播」に対して、これらが異種間で伝播する現象は「水平伝播」と呼ばれている。双方の伝播に深く関連していると考えられている因子の一つとして転移因子（transposable element）がある。

1980年代半ば、ＤＮＡを介する転移因子の一つマリナー *mariner* がショウジョウバエの一種 *Drosophila mauritiana* において、動く単位として発見された。1993年、科学雑誌 Nature に発表された手法を用いて、以後昆虫をはじめとする多くの節足動物のみならず、植物からヒトに至る多様な生物種にマリナー様配列が存在することが明らかになってきた。従って、マリナーは種を超えて水平伝播した、あるいは現在も水平伝播していると想像されるようになった。しかし、これらのマリナー様配列の殆どは、マリナーの断片にすぎず、しかも、もはや転移する能力を持たない（転移酵素：transposase の遺伝子が不完全、または壊れているため）ものばかりであり、マリナーが水平伝播する証拠もそのメカニズムに関するデータも、今日まで殆ど報告されていない。

水平伝播する、転移能力を持つマリナー配列をピックアップする手段として、マリナーの断片ではなく全長を単離することを考え、マリナー配列両端にある「末端逆位繰り返し配列」：Inverted Terminal Repeat に着目した。データベース検索を行い、鱗翅目昆虫の一種セクロピア蚕の配列を利用することによって、転移酵素の遺伝子が完全なマリナー配列全長をヨナグニ蚕から単離することに成功した。その後同じ系を用い、ヨナグニ蚕から得られたマリナー配列と同じタイプの全長マリナー配列を、日本列島に生息する11種の異なる生物から単離した。ヨナグニ蚕とサンゴからの配列は転移能を持つと考えられることから、このタイプのマリナーは種を超えて水平伝播可能なタイプであることが推測される。更にこのタイプは、日本列島以外に生息している生物からは未に単離されていない。この結果は、マリナーの水平伝播と生物の地理的分布には何らかの相関関係があることを強く示唆している。

写真＝中島博士（左）

脳血管障害における血行力学的要因の解明

東京大学生産技術研究所助教授　大島　まり

脳血管障害は心臓疾患およびがんと並び、日本における３大死因の一つである。脳血管障害の中でも、くも膜下出血は特に日本人に多く見られる疾患であり、年間約１万人のうち１人に発症するといわれている。その原因の約70－80%は、比較的太い脳動脈にできる瘤、脳動脈瘤の破裂である。くも膜下出血はいったん起きた場合の致死率は非常に高いが、破裂する確立は約 1.0 %と低い。一方、予防のための手術により、かえって身体や意識障害などの後遺症に悩む場合が数%から５%と報告されている。したがって、未破裂動脈瘤に対する治療のガイドラインを決める上で、脳動脈瘤はどのくらいの頻度で発生するのか、また、未破裂動脈瘤の破裂する確立はどの程度か、ということを理解することは重要な課題である。

脳動脈瘤は特異な部位にできやすく、また年齢や性別に偏りがあることが知られている。このことから、血管形状に起因する血行力学的な変化が血管壁に過度なストレスを与えることによって起こる、いわゆる力学的な要素が強いと考えられている。そこで、脳動脈瘤における血行力学的特長に着目し、臨床の疫学調査に計算力学的アプローチを採り入れることにより、脳動脈瘤の発生および破裂メカニズムの解明を試みている。本研究においては、医用画像に基づくシミュレーションおよびデータベースシステムの開発を行っている。シミュレーションシステムはＭＲＩあるいはＣＴなどの医用画像から血管形状を抽出する３次元モデリング、超音波流速計によって計測された脈動の流れを用いた数値解析および数理モデリング、解析結果の可視化より構成される。特に３次元モデリングおよび数値シミュレーションにおいては、血流および血管壁の特長を加味したモデルや数値解析手法を開発している。さらに、解析に用いられた医用画像あるいは解析結果をデータベース化し、多変量解析を用いることにより、血管形状と壁面せん断応力の関係について検証した。

写真＝大島博士（右）

《国際奨学生報告会》
乳房マッサージでよい母乳を
―フォダさん（エジプト）の研究―

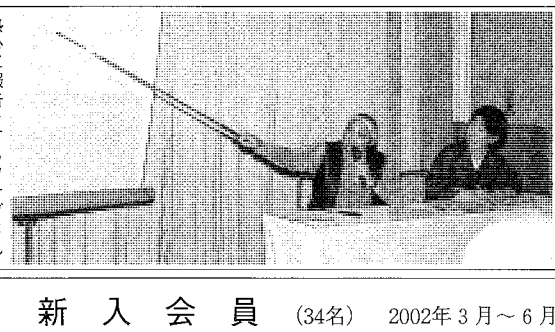
２００２年２月25日（土）午後アルカディア市ヶ谷にて、国際奨学委員会と東京支部の共催により、メルバット・フォダ博士（２００１年度国際奨学生）の長崎シーボルト大学におけるご活動の報告会が開かれました。（出席者32名）

フォダさんの略歴（会報204号参照）などの紹介が宮島国際奨学委員長からあり、エジプトの民族的衣裳を召されたフォダさんのお礼のご挨拶に続き、この日は特別に和服姿の通訳・穐田（あきた）さん（国際委員会）が、あたかもフォダさんご自身が日本語を話されたかのように、淀みなく本題へと導入してくださいました。

話題の前半は、滞在先の長崎で母乳を授乳中の女性たちを調査対象にした研究報告、後半はイスラム教の特徴、エジプト人女性の職業に関する統計、観光の勧め等でした。

ＷＨＯが母乳による育児を推奨（１９７４年）して以来、日本の桶谷助産婦の提唱した乳房基底マッサージが有名になりました。フォダさんは、エジプトでの乳房マッサージの７千年の伝統に、桶谷式の良さを取り込もうと考えました。日本の小児科の現場で、この療法を受けに来院した39人（産後１年未満の５群）の母乳をサンプリングし、その成分の物理・化学的分析をしました。このデータから乳汁成分（乳性蛋白・乳糖・乳脂肪・ミネラル等）の増加時期および乳固形分と総エネルギーの増加が見られます。この母親たちには全身解放感有、苦痛無、乳汁分泌促進、乳腺炎・乳頭損傷予防と、赤ちゃんには何故か夜泣き無、の傾向が明らかにあるということです。

（国際奨学委員会　時枝　裕子）



熱心に報告をするフォダさん（左）と通訳の穐田国際委員

新入会員　（34名）　2002年３月～６月　理事会承認

函館支部
井村　矩子（聖）　040-0003　函館市松陰町１－19
多胡　眞知子（跡見学園）　040-0011　函館市本町30－14

新潟支部
吉井　史子（新潟）　950-0088　新潟市万代５－７－２　シアース万代東棟1103

東京支部
伊藤　厚子（茶、東京院）　182-0011　調布市深大寺北町４－14－３
上村　牧子（白女）　189-0024　東村山市富士見町１－２－39 村山第１住宅５－502
大東　郁子（東洋女）　166-0004　杉並区阿佐谷南１－６－20
岡部　佳世（学・東京院）　184-0005　小金井市桜町１－８－12
加納　彰子（茶）　153-0065　目黒区中町２－５－８
木原　優子（日女）　156-0043　世田谷区松原５－５－３
窪田　憲子（津）　168-0064　杉並区永福３－９－14
米田　由美（実）　179-0072　練馬区光が丘３－７－10－405
仲沢　史子（青学）　261-0013　千葉市美浜区打瀬２－17 パティオス18－608
平川　暁子（東京・院）　151-0066　渋谷区西原３－44－26
平林　佐保子（同女）　152-0002　目黒区目黒本町１－２－18
藤平　昌子（茶）　156-0043　世田谷区松原５－60－６－301
細田　照子（実）　359-0041　所沢市中新井３－20
村木　晴子（津）　226-0002　横浜市緑区東本郷２－10－24
森川　淳子（茶）　230-0062　横浜市鶴見区豊岡町14－21
八ツ橋　宣子（実）　158-0095　世田谷区瀬田２－24－８
渡辺　加代（聖）　152-0034　目黒区緑が丘２－12－３

神奈川支部
内山　清子（静女・慶院）　233-0013　横浜市港南区丸山台２－９－24－208

京都支部
島田　洋子（奈女、ボストン大院）　612-8055　京都市伏見区伯耆町15－707
高橋　紀世子（神戸）　620-0954　福知山市半田1018
吉村　俊子（同大）　603-8245　京都市北区紫野西蓮台野町66－１

大阪支部
澤野　加奈（県静岡）　590-0807　堺市旭ヶ丘南町３－３－９

広島支部
鈴岡　章子（広島）　735-0015　安芸郡府中町青崎東11－８－B314

愛知支部
浅井　寿子（北里）　445-0804　西尾市緑町１－１
大橋　恵子（南山）　511-0821　桑名市矢田216－22
高橋　昭代（国）　492-8411　稲沢市北島町笠破２－28
村山　元子（南山）　464-0034　名古屋市千種区清住町２－47 東山ヒルズ204

長崎支部
石山　美佐（東女）　850-0874　長崎市魚の町２－25－301
梅田　和子（津）　850-0066　長崎市大浜町650－７
中村　久子（東女）　850-0824　長崎市三景台町１－28
平山　恭子（東女）　850-0003　長崎市片淵２－１－４

2002年度　委員会名簿

【財務委員会】
委員長　大森たへ子
相田志都江　井口美登利
市川知恵子　江口　昌子
奥津　成子　加藤　文子
金子　京子　川田　ひろ
北村　和子　熊切　冨子
小坂　順子　斉藤　智恵
坂井　英子　佐々木洋子
鈴木美代子　鈴木　行子
住友千代子　関口　瑞穂
高林　益江　太刀川洋子
中山　正子　中山　律子
縄田眞紀子　羽山　昭子
福士仁三代　藤谷　文子
待場田鶴子　松崎　和子
松村美枝子　八ツ橋宣子
山崎　邦子　山村　敬子

【国内奨学委員会】
委員長　海老根静江
上野　郁子　牛山　通子
岡部　佳世　加藤　恭子
金子　堯子　鈴木　光子
辻　英子　平石　妙子
福田　満代　牧　久恵
松本　悠子　三浦由紀子

【国際奨学委員会】
委員長　宮島　茂子
阿部　幸子　有澤　公
井上　章子　菊池　薫
楠　明子　五味　澄子
古山みゆき　酒葉美智子
佐々木澄子　時枝　裕子
利重　敦子　西尾　順子
根岸　愛子　平野　和子
廣田　貞子　山中　照子

【科学研究奨励委員会】
委員長　島　美喜子
伊藤　厚子　井上久仁子
岩村　道子　大野　涼
加藤　恭子　熊谷　晶子
今野美智子　時枝　裕子
平川　暁子　丸山　庸子
村岡　全子　室伏きみ子
八木　江里　山中　照子

【国際委員会】
委員長　柳原由美子
穐田　信子　伊藤　俊技
大谷　幸子　小野　恭子
賀集イレーネ　五味　澄子
斉藤　智恵　仲沢　史子
中村ミチコ　平川　敦子
平野　和子　福田　文子
房野　桂　待場田鶴子
村松　育子

【女性の地位委員会】
委員長　増渕　民子
飯田　寛子　海老原典子
金崎芙美子　窪田　憲子
静間　敏子　白井　典子
杉森　長子　鈴木　伸子
高田　素子　土屋　和子
長谷　文子　松浦　千誉
村田　鈴子　森山　智可
若井　綾子

【社会福祉委員会】
委員長　鈴木　光子
伊藤智恵子　大島真理子
木原　優子　駒木三枝子
玉井美枝子　長岡　茂子
中平　玲子　野崎　方子
望月　浪江　吉原　雅子

【教育委員会】
委員長　橋本　慶子
有本　玲子　伊藤めぐみ
大東　郁子　大森たへ子
田中　正子　平田　宏子
福田　文子　藤村久美子
武藤亜希子　山澤　和子

【国内ＮＧＯ委員会】
委員長　松比良節子
五十嵐康子　石塚　浩美
片岡貴美子　菊池壽美子
斉藤加代子　高田　素子
田中トモ子　田中　正子
旦　節子　長岡　茂子
中村ミチコ　野田紀代子
房野　桂　松鹿　光
丸山　庸子　三上　晶子
望月　浪江　矢鋪　真澄
横橋　貴子　若井　綾子

【会員委員会】
委員長　秋月　薫
磯村　明子　菊地　晴子
後藤　晶子　庄司　ヨシ
西田　節子　橋本津栄子
福田　満代　堀口　裕子
溝渕ひろ子　三森　紀子
村松　育子　山下　靖子
吉村　光代

【広報委員会】
委員長　松本　佳子
遠藤　理枝　奥田　順子
尾上　夏子　黒川　花子
相馬　房子　日置　恵子
藤田　典子　百束　礼子
山内　弘子　山崎　邦子
鷲崎　千春

【情報委員会】
委員長　井口美登利
有本　玲子　海老根静江
遠藤　理枝　大谷　幸子
駒木三枝子　斉藤加代子
清水　敬子　関口　瑞穂
高田　素子　利重　敦子
野田紀代子　福田　満代
藤谷　文子　百束　礼子
八木　江里

第4回 大学婦人協会 守田科学研究奨励賞 贈呈式

科学研究奨励委員長　島　美喜子

第4回守田科学研究奨励賞の贈呈式が5月18日、アルカディア市ヶ谷で行われた。受賞者は東京大学生産技術研究所助教授の大島まり博士（バイオ流体力学）と琉球大学遺伝子実験センター助手の中島裕美子博士（遺伝学）である。

式のあと、大島博士は「脳血管障害における血行力学的要因の解明」について、中島博士は「転移因子マリナーに関する研究―日本に生息する異種間での水平伝播の可能性」について、それぞれ、その研究の一端を話された。

大島博士は1984年に筑波大学基礎工学類を卒業後、東京大学大学院工学系研究科に進学、1992年に同博士課程を修了、工学博士の学位を受けた。東京大学大学院在学期間中に、米国マサチューセッツ工科大学大学院原子力工学科に4年間留学、Engineerの学位を受けている。1992年に東京大学生産技術研究所助手となり、同講師、筑波大学併任助教授を経て、2000年4月、助教授に昇任、現在に至っている。

島委員長を中心にお祝いの花束を手にして。
中島裕美子博士(左)、大島まり博士(右)

中島博士は1985年、九州大学農学部農学科を卒業後、同大学院農学研究科修士課程に進み、修了後、1987年から92年まで昭和電工株式会社等の研究員として過ごした。1992年5月から琉球大学遺伝子実験センター助手となり現在に至っている。

お二人の研究については別に紹介されているが、大島博士の新しい分野を開拓する研究活動、中島博士のユニークな研究課題は国内外の関連分野の研究者から注目されており、共に最先端を行く女性科学者で将来の更なる発展には大きな期待がもたれる。

当日は、小林敏雄日本機械学会会長、小林正彦日本蚕糸学会会長、西尾茂文東京大学生産技術研究所所長、佐藤良也琉球大学遺伝子実験センター長はじめ、東京大学、九州大学、筑波大学等から多くの先生方においでいただき、また会員諸姉多数のご参加を得て、出席者は70名を超える盛会となった。

第5回大学婦人協会守田科学研究奨励賞

受賞候補者募集要項

趣旨：本賞は、化学教育者・故守田純子氏から遺贈された資金をもとにして、自然科学を専門とする女性科学者の研究を奨励し、科学の発展に貢献する人材を育成することを目的として、1998年に設けられたものです。

対象：自然科学分野において、優れた研究成果をあげており、科学の発展に貢献することが期待される40歳未満（応募締切日現在）の女性科学者を対象としています。

授賞件数：年2件以内
賞状および副賞50万円を贈呈します。

提出書類：1．推薦状　2．履歴書(写真添付)　3．研究業績リスト　4．主要な論文別刷　5．研究題目とその概要および今後の展望と抱負を記したもの（A4版2頁以内）

応募締切日：2002年11月30日(土)（必着）

書類送付先および連絡先：社団法人　大学婦人協会
〒160-0017　東京都新宿区左門町11番地6の101
TEL：03-3358-2882　FAX：03-3358-2889

2002年度 大学婦人協会国内奨学生募集要項

Ⅰ 応募資格

一般奨学生　文部科学省の認可する大学（短期大学を除く）の学部第3学年に在籍する女子学生、あるいは大学院に1年以上在籍する女子学生で、人物・学業ともに優れた者。

社会福祉奨学生　文部科学省の認可する大学（短期大学を除く）の学部・大学院に在籍する女子学生で、身体に障害があり、かつ人物・学業ともに優れた者。

安井医学奨学生　医学あるいは薬学などを専攻する大学院に2年以上在籍する女子大学院生で、人物・学業ともに優れた者。なお本協会の会員であるか、または授与の時までに会員となること。

Ⅱ 奨学金支給額（年額）及び募集人員

一般奨学生	学部生	1人	8万円	5名
	大学院生	1人	10万円	9名
社会福祉奨学生	学部生	1人	8万円	学部生、大学院生あわせて5名以下とする
	大学院生	1人	10万円	
安井医学奨学生	大学院生	1人	30万円	1名

備考　(1) 応募状況により奨学生の人数に多少変更もありうる。
(2) 奨学金のうち10万円は本協会東京支部からの寄付による。

Ⅲ 提出書類

(1) 履歴書（市販のもの、写真貼付、自筆のこと）
(2) 大学婦人協会所定の奨学金交付調書（記入者は在学する大学の学長・学部長・学科長・指導教員のいずれかであること）
(3) 在学する大学の交付する学業成績証明書
(4) 小論文(下記のそれぞれの課題を1200字〔ワープロ使用 A4判 横書 40字×30行またはB5判400字詰横書原稿用紙3枚〕以内にまとめること)
　一般奨学生および社会福祉奨学生：
　　学部生　自分の専攻分野と将来の希望について
　　大学院生　修士論文または博士論文の計画と将来の希望について
　安井医学奨学生：
　　大学院生　自分の専攻分野と将来の展望について
(5) 所定の身体障害状況調書（社会福祉奨学生のみ）

Ⅳ 応募手続

応募希望者は、必要書類を所属大学の学長に提出すること。

Ⅴ 出願締切日

2002年9月9日(月)までに、東京都・千葉県・埼玉県および沖縄県の大学は本協会本部に、その他の地域の大学は当該支部に書類を提出すること。(当日消印有効)

Ⅵ 選考方法

支部長宛に提出された書類は支部会で選考して、2名以上の場合は順位をつけて本部に提出する。
本部においては、提出された全ての書類を選考委員会で選考し、その結果を理事会にはかって決定する。
選考の結果は、推薦支部長、本人の在学する大学学長、および本人に通知する。

Ⅶ その他

(1) 贈呈式は2003年1月初旬の予定(詳細は後日通知する)。
(2) 不明の点については本部に照会のこと。

社団法人　大学婦人協会
会長　今井けい
国内奨学委員長　海老根静江
社会福祉委員長　鈴木光子
〒160-0017 東京都新宿区左門町11番地6の101
TEL 03-3358-2882　FAX 03-3358-2889

平成13年度国庫補助事業

特別会計収支決算報告

特別会計：藤谷文子　江口昌子　中山正子　（単位：円）

収入の部 区分	予算額	決算額	備考
国庫補助金	1,680,000	1,680,000	
協会支出金	2,010,500	1,950,000	
セミナー参加費	450,000	456,000	3,000×150 2,000×3
懇親会費	480,000	468,000	4,000×117
銀行利息	500	230	
計	4,621,000	4,554,230	

※特別会計収支報告について
セミナー参加費、銀行利息等は直接特別会計で扱ったもので、本部会計には含まれません。
支出のうち、7支部の調査研究費は562,438円、3委員会の調査研究費は222,100円でした。
ご協力くださった支部、委員会にあらためて感謝いたします。

支出の部 区分	科目	予算額	決算額	備考
補助対象経費	謝金	235,000	235,000	本部パネリスト　4名 支部・委員会講師　3名
	旅費	617,500	558,456	講師、企画・実行委員、支部長、レポーター
	借損料	105,000	99,080	企画・実行委員会会場費、支部・委員会会場費
	消耗品費	223,000	220,985	事務用品、書籍、ワープロ用紙、リボン、テープ
	印刷製本費	1,496,500	1,527,764	セミナー要項、プログラム、報告書、報告書発送用封筒
	通信運搬費	678,000	684,566	支部・委員会連絡、セミナー報告書発送
	会議費	277,000	265,585	本部・支部・委員会会議費
	賃金	199,000	173,100	ワープロ入力、テープ起こし代、アンケート集計
	雑役務費	292,000	303,449	コピー代、現像代、プリント代
	小計	4,123,000	4,067,985	
その他	懇親会費	480,000	468,000	4,000×117
	雑役務費	8,000	8,245	振込手数料
	賛助会費	10,000	10,000	(財)全日本社会教育連合会
	小計	498,000	486,245	
	計	4,621,000	4,554,230	

○監査報告　監査の結果、収入・支出ともにすべて正しく記録され、間違いのないことを証明致します。

平成14年3月26日

監事　藤崎　久　　根岸　愛子

理事会報告より

- 2002年度若手会員育成金（20万円）を次のグループに差し上げました。
  石塚浩美会員（神奈川支部）を中心とするグループ「女性と社会システムを考える会」
- 第28回ＩＦＵＷ総会の日程・開催地が変更になりました。
  2004年8月4日～10日、オーストラリアのパース（アデレードから変更）で開催されます。
- ＩＦＵＷリーフレットの新しい版（英語版）が、ＩＦＵＷ本部で作られましたので、ＪＡＵＷ各会員に配布します。
  昨年のオタワ総会で青木怜子さんがＩＦＵＷ会長に就任されました。
  これを機会に、リーフレットを広報活動にお役立ていただき、周囲の方にＩＦＵＷおよびＪＡＵＷの存在をＰＲしてください。
- 守田科学研究奨励賞の副賞30万円が、第5回(2002年)から、50万円に増額されることになりました。

ご寄付ありがとうございました

五味澄子さん（東京支部）から　国際奨学委員会へ
廣田貞子さん（東京支部）から　国際奨学委員会へ
根岸愛子さん（東京支部）から写真集を　国際奨学委員会へ
国内ＮＧＯ委員のメンバー(東京支部)からホームズ奨学金へ
愛知支部から　ＩＦＵＷ奨学金へ

神戸総会のバスツアー（4月15日）

2001年度 社団法人 大学婦人協会収支決算報告書及び貸借対照表

収支計算書

(2001年4月1日から2002年3月31日まで)

(単位:円)

科目	予算額	決算額	差異	備考
Ⅰ 収入の部				
1 基本財産運用収入	467,000	300,969	−166,031	
基金口座利息				
事業基金利息	160,000	73,747	−86,253	
ホームズ基金利息	7,000	3,131	−3,869	
国際奨学金基金利息	300,000	224,091	−75,909	
2 入会金収入	100,000	79,000	−21,000	
入会金	100,000	79,000	−21,000	79口(¥1,000×79)
3 会費収入	10,260,000	9,420,000	−840,000	
正会員会費収入	10,200,000	9,330,000	−870,000	1555口(¥6,000×1555)
賛助会員会費収入	60,000	90,000	+30,000	15口(¥6,000×15)
4 補助金収入	1,800,000	1,680,000	−120,000	
国庫補助金収入	1,800,000	1,680,000	−120,000	財務委員会 2,211,000円
5 寄付金収入	2,311,000	3,874,337	+1,563,337	東京支部より指定寄付 100,000円
会員その他寄付	2,311,000	3,874,337	+1,563,337	国内奨学金指定寄付 1,000,000円
6 雑収入	1,457,000	1,523,752	+66,752	ホームズ奨学金指定寄付 100,000円
受取利息				国際奨学金指定寄付 408,337円
運用財産利息	12,000	5,671	−6,329	
審査手数料	0	5,000	+5,000	その他 55,000円
広告料収入	200,000	200,000	0	
総会参加費	690,000	759,000	+69,000	¥3,000×253名
雑収入				
分担金	405,000	403,445	−1,555	東京支部より管理費分担
名簿	0	1,000	+1,000	
私用電話他	150,000	149,636	−364	
7 特定預金取崩収入	2,170,000	1,850,891	−319,109	
安井医学奨学金	320,000	305,000	−15,000	
守田科学研究奨励金	850,000	845,681	−4,319	
若手会員育成金	1,000,000	700,210	−299,790	
A 当期収入合計	18,565,000	18,728,949	+163,949	
B 前期繰越収支差額	10,610,000	11,004,484	+394,484	
C 収入合計(A+B)	29,175,000	29,733,433	+558,433	

(単位:円)

科目	予算額	決算額	差異	備考
Ⅱ 支出の部				
1 事業費	12,720,000	12,384,440	−335,560	
国庫補助事業	4,000,000	3,630,000	−370,000	
奨学金				
国内奨学金	1,300,000	1,300,000	0	10万×9名·8万×5名
社会福祉奨学金	400,000	360,000	−40,000	10万×2名·8万×2名
国際奨学金	300,000	762,908	+462,908	60万×1名メルバット·フォグ氏(エジプト)
ホームズ奨学金	100,000	100,000	0	10万×1名
安井医学奨学金	320,000	305,000	−15,000	30万×1名
守田科学研究奨励金	850,000	845,681	−4,319	30万×2名
若手会員育成金	1,000,000	700,210	−299,790	オタワ総会旅費補助(20万×3名·5万×2名)
分担金				
IFUW·UWA会費	1,470,000	1,568,403	−98,403	12CHF×1630名
IFUW関係連絡費	150,000	150,000	0	
NGOその他	40,000	45,000	+5,000	
助成金				
IFUW寄付金	150,000	150,000	0	ビーナ·ロイPID基金へ
支部振興費	70,000	76,600	+6,600	
各委員会活動費	650,000	569,474	−80,526	
図書·資料	20,000	8,300	−11,700	
印刷製本費 名簿発行	0	0	0	
会報発行	1,500,000	1,478,400	−21,600	会報発行 202号〜205号
通信運搬費	400,000	334,464	−65,536	
2 管理費	5,725,000	5,764,119	+39,119	
給料·手当他				
給料·夏·冬手当	1,920,000	1,919,507	−493	
法定福利費	300,000	299,879	−121	
会議費				
総会費	1,600,000	1,932,800	+332,800	
理事会費	30,000	23,094	−6,906	
役員選考委員会費	5,000	5,000	0	
旅費交通費	80,000	81,840	+1,840	
通信運搬費	250,000	232,642	−17,358	
什器備品費	20,000	0	−20,000	
消耗品費	620,000	524,216	−95,784	
印刷製本費	150,000	21,000	−129,000	
負担金	270,000	280,200	+10,200	
光熱水料金	180,000	149,442	−30,558	
諸謝金	120,000	120,000	0	公認会計士謝礼
租税公課	130,000	126,700	−3,300	固定資産税
雑費	50,000	47,799	−2,201	
4 繰入金支出	0	0	0	
事業基金繰入	0	0	0	
5 予備費	120,000	0	−120,000	
予備費	120,000	0	−120,000	
D 当期支出合計	18,565,000	18,148,559	−416,441	
E 当期収支差額(A−D)	0	580,390	+580,390	
F 次期繰越収支差額(C−D)	10,610,000	11,584,874	+974,874	

貸借対照表

2002年3月31日現在

(単位:円)

科目	金額		
Ⅰ 資産の部			
1 流動財産			
現金	194,198		
現金(国際奨学)	68,409		
普通預金	4,106,210		
定期預金	5,350,000		
郵便振替	198,000		
普通預金(国際奨学)	1,668,057		
流動資産合計		11,584,874	
2 固定資産			
基本財産			
事業基金	44,600,000		
ホームズ基金	2,000,000		
国際奨学基金	60,000,000		
基本財産合計	106,600,000		
その他の固定資産			
特定預金			
安井医学奨学金	7,727,582		
守田科学研究奨励金	22,808,443		
若手会員育成金	7,165,576		
土地·建物	52,000,000		
什器·備品	500,000		
電話加入権	100,000		
その他の固定資産合計	90,301,601		
固定資産合計		196,901,601	
資産合計			208,486,475
Ⅱ 負債の部			
1 流動負債			
流動負債合計		0	
2 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			0
Ⅲ 正味財産の部			
正味財産			208,486,475
(うち基本財産)			(106,600,000)
負債及び正味財産合計			208,486,475

○上記の収支決算報告書及び貸借対照表について異議のある方は7月末日までに会長までお申し出ください。

○監査報告　監査の結果、収入・支出ともにすべて正しく記録されており間違いのないことを証明致します。

監事　藤崎　久

監事　根岸　愛子

2002年度 社団法人 大学婦人協会予算書

(2002年4月1日から2003年3月31日まで)

(単位:円)

科目	予算額	前年度予算額	増減	備考
Ⅰ 収入の部				
1 基本財産運用収入	284,000	467,000	−183,000	
基金口座利息				
事業基金利息	100,000	160,000	−60,000	
ホームズ基金利息	4,000	7,000	−3,000	
国際奨学金基金利息	180,000	300,000	−120,000	
2 入会金収入	100,000	100,000	0	
入会金	100,000	100,000	0	¥1,000×100名
3 会費収入	9,690,000	10,260,000	−570,000	
正会員会費収入	9,600,000	10,200,000	−600,000	¥6,000×1600口
賛助会員会費収入	90,000	60,000	+30,000	¥6,000×15名
4 補助金収入	1,700,000	1,800,000	−100,000	
国庫補助金収入	1,700,000	1,800,000	−100,000	
5 寄付金収入	2,100,000	2,311,000	−211,000	
会員その他寄付	2,100,000	2,311,000	−211,000	含 東京支部指定寄付10万
6 雑収入	1,504,000	1,457,000	+47,000	
受取利息				
運用財産利息	9,000	12,000	−3,000	
審査手数料	0	0		
広告料収入	200,000	200,000	0	
総会参加費	690,000	690,000	0	¥3,000×230名
雑収入				
分担金	405,000	405,000	0	
名簿	0	0	0	
私用電話他	200,000	150,000	+50,000	
7 特定預金取崩収入	2,180,000	2,170,000	+10,000	
安井医学奨学金	320,000	320,000	0	
守田科学研究奨励金	860,000	850,000	+10,000	
若手会員育成金	1,000,000	1,000,000	0	
A 当期収入合計	17,558,000	18,565,000	−1,007,000	
B 前期繰越収支差額	10,000,000	10,610,000		
C 収入合計(A+B)	27,558,000	29,175,000		

科目	予算額	前年度予算額	増減	備考
Ⅱ 支出の部				
1 事業費	12,465,000	12,720,000	−255,000	
国庫補助事業	3,500,000	4,000,000	−500,000	
奨学金				
国内奨学金	1,300,000	1,300,000	0	
社会福祉奨学金	400,000	400,000	0	
国際奨学金	600,000	300,000	+300,000	
ホームズ奨学金	100,000	100,000	0	
安井医学奨学金	320,000	320,000	0	奨学金30万、活動費2万
守田科学研究奨励金	860,000	850,000	+10,000	奨学金60万、活動費26万
若手会員育成金	1,000,000	1,000,000	0	
分担金				
IFUW·UWA会費	1,500,000	1,470,000	+30,000	1名につき12スイスフラン
IFUW関係連絡費	100,000	150,000	−50,000	
NGOその他	40,000	40,000	0	
助成金				
IFUW寄付金	100,000	150,000	−50,000	ビーナ·ロイPID基金
支部振興費	85,000	70,000	+15,000	
各委員会活動費	650,000	650,000	0	
図書·資料	10,000	20,000	−10,000	
印刷製本費				
名簿発行	0	0	0	
会報発行	1,500,000	1,500,000	0	会報4回
通信運搬費	400,000	400,000	0	
2 管理費	5,755,200	5,725,000	+30,200	
給料·手当他				
給料·夏·冬手当	1,920,000	1,920,000	0	
法定福利費	300,000	300,000	0	社会保険·労働保険
会議費				
総会費	1,600,000	1,600,000	0	
理事会費	30,000	30,000	0	
役員選考委員会費	0	5,000	−5,000	
旅費交通費	80,000	80,000	0	
通信運搬費	250,000	250,000	0	
什器備品費	100,000	20,000	+80,000	
消耗品費	650,000	620,000	+30,000	
印刷製本費	50,000	150,000	−100,000	
負担金	325,200	270,000	+55,200	
光熱水料金	150,000	180,000	−30,000	
諸謝金	120,000	120,000	0	
租税公課	130,000	130,000	0	
雑費	50,000	50,000	0	
3 繰入金支出	0	0	0	
事業基金繰入	0	0	0	
4 予備費	100,000	120,000	−20,000	
予備費	100,000	120,000	−20,000	
D 当期支出合計	18,320,200	18,565,000	−244,800	
E 当期収支差額(A−D)	−762,200	0		
F 次期繰越収支差額(C−D)	9,237,800	10,610,000		